

FOR ALL THE MOTORCYCLE & MUSIC LOVERS

The Enshu Siast Magazine

TAKE
FREE!

エンシュージアスト
2019 / Vol.3



Move on ...

自由で創造的な提案をし続けるために
2019年9月リアンディに本社移転。



Select工房 株式会社
tel:053-489-8555
mail:info@select-k.co.jp <http://select-k.co.jp/>



株式会社フォーバイシー
tel:053-489-3113
mail:info@4xc.jp <http://4xc.jp/>

【リアンディ】〒431-0101 浜松市西区雄踏町山崎 6265-1



(R)E AND —Y®

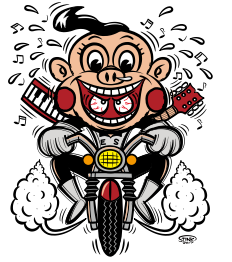
【RE】：再構築。今ある物を掛け合わせて作る新しい物、価値観。
【AND】：つなげる。ヒトとヒト、モノとモノ、コトとコト。
【Y=story】：モノが持つ物語、【Y=years】：モノが育んだ年月。

▼
家族の暮らし、あなたの時間、プライベートな空間を提案してきた
Select 工房、4XC。今度は開かれたパブリックスペースをみなさんに
提供します。ここで起きることはつながり、そこから生まれる新たな展開。
リアンディは「つながる」ことから始まるみんなの「庭」です。

<https://reandy.jp>

撮影協力：タイラレーシング
Photo : Hidekazu Kurumiya
Text : Texas Ohnuma

The EnshuSiaSt Magazine



VOL.3 CONTENTS

<i>EnshuSiaSt Profile</i> 「遠州の熱中人」	06
Special Interview 平 忠彦 令和のライダーたちへ。	08
KUSHITANIが挑戦するアジアでの熱い戦い 遠州からアジア、そして世界へ。	12
KATANA Made in Enshuの流儀。	16
Right Place, Right Time EnshuSiaSt's Choice! エンシュージスト工務店	19
愛を探して御前崎〜Route150, Seaside Road	26
グッドラック土井ちゃんが行く〜HAMAMATSU RIDERS STREET	28
わたしをオートレースに連れてって!「浜松オートレース」	29
<i>EnshuSiaSt Girls</i> ~ エンシュージストガールズ	32
エンシュージスト経営学 株式会社デイトナ 「バイク文化創造企業」としてのあくなき挑戦。	34
遠州の銘品「ヤマハ株式会社・YAMAHA SG-1000」	38
オグショートランボパーク2019開幕 熱中人が集う、遊びの大博覧会!!	40
ENSHUSIAST INFORMATION	44
コラム〜「DTラッカー再生記」「浜名湖2&4スワップミート誕生秘話」	46
GS偏愛コラム ~ Good Day Sunshines	48
夫婦エッセイ~ Cuba Libre	50
二輪業界世直し請負人〜玉方が斬る!	51
From Editors ~ 編集後記のような話	52
EnshuSiaSt Friendly Shops	53
コラム~ 喫茶ゆるはま	54

AD INDEX (50音順)

遠鉄自動車学校・遠鉄磐田自動車学校…P.33、大石農場ハム工房…P.39、川島モータース…P.47、
株式会社クシタニ…P.15、スズキ株式会社…表4、株式会社サンガ…P.55、タイラレーシング…P.11、
ホースシューベンド…P.18、リアンディ…P.02~03

The EnshuSiaSt Magazine Vol.3

2019年8月24日発行

Publisher : Hiroki Yamakawa Editor : Satoshi Ohnuma

Editorial Staff : Don U1 Sahara, Agito Ishizuka, Mayumi Kuno, Katsumi Matsushita,
Takuya&Mai Hiramatsu, Yamasan Yamakawa, Kosuke Ogusu

Photo : Hidekazu Kurumiya, Taketoshi Kurebayashi, Masahiro Furuhashi, Agito Ishizuka

Text : Texas Ohnuma, Don U1 Sahara, Agito Ishizuka, Akihiro Osugi

Illustration : STINK SIGNS, Miki Yamashita, Bob Ueda, Takumi Shibata, Watataku Takumi, Akane Doi



発行：有限会社キーウエスト クリエイティブ

〒430-0928

静岡県浜松市中区板屋町101-22 エンシュージスト編集部

TEL : 053-450-0222 FAX : 053-450-0225 mail : info@key-w.com

印刷：東海電子印刷株式会社

表紙イラスト：柴田「バーシー」匠

バイクのことを考えると、今でも
心がワクワクする。次の休みはど
こへ走りに行こうか。新調したジャ
ケットを着て、あの峠で休憩しよう。
ハンドルを変えてポジションはどう
だろう。あのコーナーを、今度はこ
う攻めてみよう…。熱中できるもの
があると、想像するだけで何気ない
日々に活力が生まれる。趣味には
人を前に進めるマジックがある。

KEEP ROLLING ON.

遠州の仲間たちよ、夢中になれる
何かとともに、ずっと走り続けよう。

熱中人ゆえに。

20 Repairman



Ryuji Wada



判断基準はただ一つ。自分が欲しいか、否か。
DOVE SYSTEM 和田隆二

iPhone/iPad、パソコン修理を手がける和田氏の店に、一歩入るとそこはおもちゃ箱。ラックにすらすらと並ぶフィギュアやミニカーは全て和田氏が気に入って集めた私物(売り物ではありません)。ガジェット好きは小学時代から。出たばかりの薄型電卓の薄さに感動して1時間以上眺めていたとか。仕事でAppleを使い始めたのもいち早く80年代の後半。愛車遍歴も車はキャブ時代のミニ、ラシーン、ブジョーなど、バイクもハスラー50、GPZ400R、RG250「ベスバなど多岐にわたる。これからも和田氏は自分の好きなものに囲まれ、マイペースでオーダーに応えていく。

DOVE SYSTEM
浜松市中区西伊場町61-11 2F
dove-system.jp
info@dove-system.com

19 Caricature



Takumi Shibata



1枚の絵で、ものがたりを描く
ATELIRE48 柴田匠／パーシー

父の影響を受け、絵を描くことが大好きだった少年時代。そんな少年がグラフィックデザイナーとなり、並行して専門学校で出会ったカリカチュアを学び、似顔絵師として独立。現在はイオンモール浜松志都呂にて「パーシー似顔絵」を出店している。カートゥーンネットワークのような、見た目が可愛く、大人が見ても意味を感じられるイラストを得意としている。似顔絵だけでなくイラストレーターとしても活躍し、今後は絵画教室やワークショップなど、自分の技術で地域に貢献することも視野に入れる。今号の表紙は構図を意識して描いたので、そこを注目で欲しいと語る。

BASHI & ATELIRE48
84nigaoe.com
takumisuidou@gmail.com
Instagram:@BASHI610

18 Jam Artist



Ayako Agehari



絵の具のパレットのようなジャムがコンセプト
ミツノシマ Ayako Agehari

季節の果実・野菜をジャムに。それをパレットに並べて絵を描くように色や味を楽しんだり、色と色を混ぜて新しい色・味・楽しさ・可能性を生み出していく。そんなジャムを素材から製造、納品先にまでこだわって作り続けている。そのきっかけは、いただいた完熟して出荷できない大量のイチゴを、必要に迫られてジャムにしたことから。それが人の手に渡り、販売を始め、イベントへの出店やSNSでの情報発信で、どんどん世界が広がっていった。一つの完成したパッケージとしてだけでなく、素材として提供できることもジャムづくりの面白さにつながり、色とりどりのカラフルな瓶はさまざまな人の元へ届けられる。

ミツノシマ
Facebook <<https://www.facebook.com/Mitsunoshima/>>
Instagram <https://www.instagram.com/mitsu_no_shima/>

17 Watersports Conductor



Takuma Fujiwara



海の守人が繋ぐ未来は故郷の美しい自然
T-flow 代表 藤原琢磨

浜名湖の美しさを知ってもらいたい。人と人が交流できる場所を作りたい。そんな熱い思いでT-flowを運営する藤原氏。海を知り尽くした元プロウインドサーファーである氏の提案するアクティビティは、氏の故郷である大崎の海や自然を最大限に満喫出来ると好評だ。「海が基本だけどウォータースポーツだけでなく、ヨガをやったりワークショップを企画したり、とにかく自然を愛するいろんな人が集まって交流してくれたら楽しいじゃない。そして美しい自然を守らなきゃって思ってくれる人が増えたら未来に繋がるでしょ。」笑顔で語る氏は紛れもなく海の守人である。

T-flow Water side community.
浜松市北区三ヶ日町大崎1991-4
TEL:053-526-0806
<https://t-flow376.jimdo.com>

令和のライダーたちへ。

遠州だからこそ、バイクをもっと楽しく乗りこなしてほしい。
「頼れるアニキ」から、すべての熱中人たちに捧げるメッセージ。

Special Interview

平忠彦

TADAHIKO TAIRA

ヤマハワークスライダーとして全日本選手権500ccクラス3連覇、世界選手権(現MotoGP)サンマリノGP優勝、鈴鹿8耐優勝と輝かしいレース戦歴を誇り、1980年代の日本を代表するエースライダーとして活躍。現在は浜松市中区高丘にてバイクショップ「タイラレーシング」を経営する。その穏やかな語り口には今なおファンが多く、今回遠州のライダーに向けて特別にバイクへの想いを語っていただいた。

「カッコいい」がバイクの原点。

初めてバイクに乗ったのは小学5年生のとき。自宅で父親のスーパーカブを見よう見まねで動かしたのが最初です。私は農家の次男坊で父も兄貴もバイク好き。当時高校生の兄がCB72を購入し、週末に仲間とツーリングに出かけるのを見て、少年心に「楽しそうだな」と憧れていました。

当時は二輪ブームで、私も影響を受けました。ステイプ・マックインの存在も大きかった。エルシノアのCMや映画「大脱走」のバイクシーンを見て「カッコいいな」と思いました。それからオートバイやモーターサイクリストなどの二輪雑誌を買って、隅から隅まで眼を通していました。

バイクの魅力を言でいえば、とにかく「カッコいい」存在です。バイクに乗っている姿やデザイン、バイクに乗っていても降りてからもそのすべてがカッコいい。それが少年時代から今に至るまで私のバイクの原点です。ですからライダーの皆さんには周りから「カッコいい」と思われる走りをしてほしいと思います。

遠州はライダーのバラダイス。いろんな場所を走ってほしい。

雑誌の仕事で日本全国をツーリングしましたから、各地の道路事情や二輪環境などを熟知しているほうだと思います。この遠州地域は、北遠には快走できるワインディングがあり、東名新東名によつて東は伊豆方面、西は名古屋方面にも短時間で走りに行けて、ライダーにとつて「バラダイス」だと思います。私も令和の初日、



遠州のライダーに向け、バイクとの出会いから現在に至るまで、時には手振りを添えて真剣に語ってくれた。

5月1日に伊豆方面へ1泊ツーリングに行きました。連休中なので大渋滞を覚悟して行ったら、意外なほど渋滞もなく、仲間と楽しくツーリングすることができました。普段のツーリングでは伊豆方面も多いかな。

レースを引退してからタイラレーシングを始め、もう40年ぐらいい浜松に住んでいます。気が温暖で1年中バイクに乗れるというのが嬉しいですね。また、国内一輪メーカーのうち、ホンダ、ヤマハ、スズキが誕生したというのも、この遠州の地の利と関係があるのではないのでしょうか。それだけライダーにとつて恵まれた地域であることは間違いないです。

遠州地域で私がおすすめするツーリングルートは奥浜名湖のオレンジロード。景色もよくて気持ちよく走ることができるので、遠方からのお客様をお連れしてよく走りに行ったりしました。ただ快走できるルートなので、走るときにはうつかりオーバーランしてくる対向車などに注意してください。

バイクは「乗りこなす」ともっと楽しくなる。

現代のバイクは昔と大きく変わりましたし、技術的には飛躍的に進歩しました。私が若い頃に乘っていたバイクはまだ未完成で、限界点が低かったです。それに比べて今のバイクは市販車でも300キロぐらいい出せるような、ものすごく完成度が高い乗り物です。でも人間の性能はそれほど変わっていませんし、2輪だから倒れてしまふことも不変です。そういう乗り物だとしてしっかり認識して乗ることが必要です。

そのためには「適切に危険回避できる」ということが大切です。Oコンマ何秒という瞬間的な動作で、そのとき「自分の身体がどう反応するか」ということを常に意識すること。私も経験がありますが、オートバイは舐めて乗ると必ずしつべ返しがあります。低速だから安全、高速だから危ないのではなく、バイクとはどんなときも真摯に向き合いながら楽しむ乗り物だと思います。

もうひとつ「バイクに乗せられているよりも、乗りこなした方が断然面白い」ということがあります。乗りこなすとは言わば「人車一体」。バイクの動きを感じ取り、予想してそのように動かしてあげる。こうしたバイクを「乗りこなす」技術を身につけるには、スクールに通うのが有効だと思います。自分の上達度を理解できるようにになると、ますますバイクが面白くなります。バイクの本分である「乗りこなして楽しむ」という領域に近づけると思っています。

また、ライダー・ライダーの方々は、自分の環境に適したバイクを選ぶということも大切です。環境とはバイクに乗る体力や反射神経のこと。



タイラレーシングには毎日出社している。「会いたくなったら、いつでも気軽に遊びにきてください。」

ライダーとは自然と仲間になる。

初心者ライダーへのアドバイスとしては、経験豊富な方の話を聞くことが大切です。ベテランライダーは良い経験も、悪い経験もされていますから。私は出張時以外は、できるだけタイラレーシングに出社するようにしていますので、タイミンが合えば声をかけてください。コービーでも飲みながらバイクの話をしましょう。

ライダー同士って話しやすいですよ。この前のツーリングでも、休憩のときに他車のナンバーを見て、横浜だったら横浜のどちらですか?といった



MV AGUSTA



Husqvarna

Get closer to European style.

タイラレーシングはMVアグスタ、ハスクバーナ、プジョー、SWMなどのヨーロッパンモーターサイクル、およびイタリアのモーターサイクルウェア「ダインセ」のオフィシャルディーラーです。

過去のレース活動やオリジナルパーツ開発、カスタマイズのノウハウを活かし、確かな技術力のもとお客様のモーターサイクルライフをサポートしております。



DAINESE



PEUGEOT
MOTOCYCLES



SWM

Taira Racing
www.tairaracing.co.jp



タイラレーシングのホームページでは、上記ブランドの最新ラインナップをご覧いただけるほか、ダインセおよびタイラレプリカシリーズ等のオリジナルグッズのオンラインストア、遠州ツーリングなどにご利用いただけるレンタルバイクの予約なども承っております。



タイラレーシング 浜松店
trc@tairaracing.co.jp

浜松市中区高丘西1-12-7
TEL.053-437-2125 FAX.053-437-2664
営業時間：10:00~19:00 休業日：火曜日、第2・3水曜日



タイラレーシング 静岡店
shizuoka@tairaracing.co.jp

静岡市駿河区新川1-1-31
TEL.054-273-0201 FAX.054-273-0201
営業時間：10:00~19:00 休業日：火曜日、水曜日



62歳になる現在も、仲間やタイラレーシングのお客様たちとツーリングをメインにバイクを楽しんでいる。

た切り口で会話を始め、自分たちは浜松ナンバーなので浜松のごですか？といった話に自然になりました。それが4輪だとなかなかそうはならない。ライダーとは自然と「仲間」意識で話せるのがすごく楽しいです。

バイクからすべてを学んできた。

初歩的なことですが、バイクは準備がとても大事です。ツーリングでも、事前に荷物やルートを確認をしっかりとしないと、結果的に旅がつまらないもので終わったりします。レーシングライダーとしては、レースで勝つために事前の準備がとても大事なことを学びました。何の準備もせずにレースに行っても、絶対にうまくいくことはありません。アマチュア時代はメンテナンスからレースに向けたセット



試乗車は全て平氏が慣らしを担当。「お客様に良い状態で試乗してもらえるよう、しっかり調子を出しています。」

アップまですべて自分でやってきました。自分が乗るレーシングバイクも機械なので調整が不可欠です。レースは競争ですから、ライバルたちもみんなレギュレーションにあつたチューンナップをして、緻密に準備をしています。そういった猛者たちと競って勝つのがレースという世界です。結果は偶然ではありません。準備の積み重ねが結果として現れるのです。そうやって学んだ経験が今の事業にもすごく参考になっています。

私がおすすめる至極の二台。

タイラレーシングではMVアグスタとハスクバーナをおすすめています。MVアグスタはデザインが突出してかっこよく、「二輪界のフェラーリ」と呼ばれる別格の存在で、いつまでも見えて飽きない魅力があります。私もMVアグスタのヴェローチェ800に

乗っていますがとてもいいバイクです。ハスクバーナでは新しくウィットヒレン701/401が出ましたが、各部の造りが非常にいいです。コンパクトで軽量なのでワインディングなどで軽快に走れます。大型車をお持ちの方が増車するにはピッタリだと思います。

ライディングに大切な「遊び心」とは。

バイクの操縦は両手両足を使います。アクセルを開ける、クラッチを繋ぐ、バランスを取るといったすべてが微妙な操作です。だから1日バイクに乗って家に帰ると、ほっとして全身の疲労感を感じます。つまりバイクは全身を使う乗り物だということです。そういうことが若さを保つ秘訣にもつながるのでしょう。もっと多くの方にバイクの楽しさを体験していただきたいです。

バイクに乗る＝遊びですから「遊び心」が大切です。「こういう乗り方したらどうだろう」「こんな新しい乗り方はどうだろう」というのをいつも試しています。そうして自分なりの「新しい発見」をすることが好きです。今でも私はそうやってバイクを楽しんでいます。

若いころはバイクで長く走っていたい、距離を稼ぎたいと思っていましたが、歳を重ねるにつれて優先順位が変わってきました。最近はずーリング先でゆっくり温泉に浸かり、地元の美味しい酒や料理を味わうというのが何よりの楽しみです(笑)。せっかくのツーリングではあまり費用をケチらずに、いろんな体験をして楽しい思い出を多く作るほうが良いと思います。皆さんにはいい旅をしてほしいですね。

「バイクのふるさと」だからもっとできることがある。

私には以前から夢のように考えていることがあります。バイクの聖地である遠州浜松を世界に発信するインパクトある仕掛けができないかと。その時には皆さんもぜひ協力をしてください。

誤解を恐れずに言えば、バイクは一般から見るとまだまだ良い印象を持たれていません。だから私は常日頃からバイクの印象が良くなるように意識して行動しています。

例えば信号待ちで停車するとき。どんなバイクも前のクルマの間に近づいて停まっていることに気づきました。ドライバークラッシュミラーにバイクが映ると、近い距離に見えて圧迫感を感じます。ですからライダーには前方車両との間隔にゆとりを持って停車するという意識を持っていただきたい。

私だけでなく、この遠州にマナーの良いライダーがもっと増えてほしい。人より一人それが増えて1万人にまでなれば、結果的に日本のライダーの印象が良くなる。グッド・マナー、グッド・バイク。そんな活動を遠州から広めていきたい。「バイクのふるさと」がモノづくりにだけでなく、ライダーの「心のふるさと」にもなっていくことを願っています。



読者プレゼント

直筆サイン入りボディバッグ(1名)、ステッカーセット(10名)をエンシェージアスト読者へ特別プレゼント。応募方法の詳細はP.45へ。



櫛谷淳一 Junichi Kushitani

1993年、株式会社クシタニ入社。94年、クシタニ世田谷店の店長に就任。99年にUS KUSHITANIスタッフとして渡米。海外での経験を積む。2004年に帰国し、KUSIHTANI COFFEE BREAK MEETING、KUSHITANI CAFE、KUSHITANI PERFORMANCE STOREなど様々な企画を担当。2016年にアジアへの展開を開始。2017年、株式会社クシタニ代表取締役社長に就任。

アジア、そして世界へ。

時折前が見えなくなるほど激しい雨がフロントガラスに叩きつける、梅雨真っ只中の6月下旬。
三重県鈴鹿サーキットでFIMアジアロードレース選手権（以下、ARRC）日本ラウンドが開催された。
世界のレースを知るクシタニが、タイを拠点に2016年から若きアジアライダーのサポートを始めたと聞き、エンシューアジアスト編集部は急遽鈴鹿に向かった。熱気と興奮が渦巻くサーキットで我々が見たものとは。

アジアのレースに 衝撃を受けた。

櫛谷氏が初めてARRCに興味を抱いたのは2015年。エースライダーの高橋裕紀選手が全日本とダブルエントリーで26000に参戦。その応援に行ったことがきっかけだった。高橋選手は見事チャンピオンを獲得するが、櫛谷氏が注目したのは、アジアライダーの予想以上の走りであった。「実際に見るまでは正直アジアのレースを私自身があまり理解していませんでした。全日本タイトルまで獲得した高橋選手が、なぜ日本では知名度の低いアジアのレースで走るのかも疑問でした。」

たい」と提案しました。社内での議論はイエスでもノーでもなかった。多分アジアのレースの知識がなく判断できなかったと思います。だから余り期待されないところからのスタートでした。」
熱意で周囲を説得した櫛谷氏は、ARRCに参戦するチームやライダーと交渉を開始。翌2016年には5名のライダーにレーシングスーツをサポート。クシタニのアジアでの戦いが始まった。

日本人が失ったものが、 ここにはある。

「アジアのライダーたちを表現すると、ハングリーという言葉に尽きます。UB150（※）ではラストラップのクラッシュが当たり前。ライブ配信でも一番人気があるクラスです。レース後、田舎ではノーヘルで少年たちが競います。娯楽が少ないアジアでは、レーサーは彼らのヒーローなんです。」
彼らの情熱が、櫛谷氏がアジアへと挑戦するきっかけとなったことは間違いない。また

「アジアという地域に今の日本には無い「熱」を感じます。ARRCには若い日本人ライダーも参戦していますし、タイの日本人学校に通いながらタイ国内のレースを走る中学生もいます。これからは日本単独ではなく、アジアという地域から世界を目指すライダーが増えていくのだと思います。日本人を含め、彼らアジアのライダーをサポートするのが私たちの使命だと思っています。」
今アジアのレースシーンを世界が目撃する。タイタレントカップでは玉田誠氏が、その下のAPホンダアカデミーでは、伊藤真氏がタイの少年たちを指導（APホンダアカデミーをクシタニがサポート）。これまでに違う新たな挑戦がアジアから始まっている。

アジアという地域にも大いなる可能性を感じた。

「アジアという地域に今の日本には無い「熱」を感じます。ARRCには若い日本人ライダーも参戦していますし、タイの日本人学校に通いながらタイ国内のレースを走る中学生もいます。これからは日本単独ではなく、アジアという地域から世界を目指すライダーが増えていくのだと思います。日本人を含め、彼らアジアのライダーをサポートするのが私たちの使命だと思っています。」
今アジアのレースシーンを世界が目撃する。タイタレントカップでは玉田誠氏が、その下のAPホンダアカデミーでは、伊藤真氏がタイの少年たちを指導（APホンダアカデミーをクシタニがサポート）。これまでに違う新たな挑戦がアジアから始まっている。

「アジアという地域にも大いなる可能性を感じた。」
「アジアという地域に今の日本には無い「熱」を感じます。ARRCには若い日本人ライダーも参戦していますし、タイの日本人学校に通いながらタイ国内のレースを走る中学生もいます。これからは日本単独ではなく、アジアという地域から世界を目指すライダーが増えていくのだと思います。日本人を含め、彼らアジアのライダーをサポートするのが私たちの使命だと思っています。」
今アジアのレースシーンを世界が目撃する。タイタレントカップでは玉田誠氏が、その下のAPホンダアカデミーでは、伊藤真氏がタイの少年たちを指導（APホンダアカデミーをクシタニがサポート）。これまでに違う新たな挑戦がアジアから始まっている。

これを選んだら、 二度と世界で戦えない。

「アジアに出るなら、タイミング的に最後のチャンスだと思っていました。この機会を逃したら、大げさに言えば一度と世界へ進出することは難しいとさえ思いました。」
クシタニがタイに進出したのは1995年。業界ではいち早くアジア進出を果たしたが、一度撤退した過去がある。ただし当時もライダーからクシタニの品質は高く評価された。今回アジアでのサポートを始めた際、若いライダーたちはクシタニを知らず、日本の新興メーカーがやってきたぐらいの印象だったと言った。しかし以前クシタニを着用した経験のあるライダーが、今はチーム監督や関係者としてレースに携わっていた。彼らはクシタニがアジアの舞台に帰ってきたこと

「アジアに出るなら、タイミング的に最後のチャンスだと思っていました。この機会を逃したら、大げさに言えば一度と世界へ進出することは難しいとさえ思いました。」
クシタニがタイに進出したのは1995年。業界ではいち早くアジア進出を果たしたが、一度撤退した過去がある。ただし当時もライダーからクシタニの品質は高く評価された。今回アジアでのサポートを始めた際、若いライダーたちはクシタニを知らず、日本の新興メーカーがやってきたぐらいの印象だったと言った。しかし以前クシタニを着用した経験のあるライダーが、今はチーム監督や関係者としてレースに携わっていた。彼らはクシタニがアジアの舞台に帰ってきたこと

「アジアに出るなら、タイミング的に最後のチャンスだと思っていました。この機会を逃したら、大げさに言えば一度と世界へ進出することは難しいとさえ思いました。」
クシタニがタイに進出したのは1995年。業界ではいち早くアジア進出を果たしたが、一度撤退した過去がある。ただし当時もライダーからクシタニの品質は高く評価された。今回アジアでのサポートを始めた際、若いライダーたちはクシタニを知らず、日本の新興メーカーがやってきたぐらいの印象だったと言った。しかし以前クシタニを着用した経験のあるライダーが、今はチーム監督や関係者としてレースに携わっていた。彼らはクシタニがアジアの舞台に帰ってきたこと

喜び、若いライダーにクシタニの世界基準の高い品質を説明してくれた。この結果クシタニレーシングスーツのDNAはアジアで受け継がれ、世界への挑戦へとつながっていった。

アジアでも変わらない クシタニの理念。

「当初は日本から出張ベースでのサポートでした。ところが交渉していたチームから、タイ支店はいつ作るの？と言われてすぐに会社を設立しました。2016年の初めです。」
こうしてKUSHITANI Thailandをバンコクに設立。最初に行ったのはシン集めだった。実はレースを観戦した際に気になったことがあった。それはライダーたちが転倒で傷ついたレーシングスーツを粗末な修理だけで身につけて走る姿。アジアではレーシングスーツを専門に修理する場所がほとんどなかった。

「アジアのライダーは環境的には恵まれていませんでした。街の靴屋さんに修理を頼むライダーもいる。そんなライダーたちに世界基準の安全なスーツで戦ってほしい。穴があいたレーシングスーツで走るライダーもよく見ます。そういう状況を変えていきたいと思っています。」
サーキットではスーツのメンテナンスや応急処置。それでも対応しきれない修理などはタイに持ち帰ってシン修理。すぐさま次のレースに送り返すという日本のレースサポートと変わらない体制をへりあげた。

We create the safety world.
ライダーに安全を届けるというクシタニの理念はアジアでも変わらずに生き続ける。

KUSHITANIが挑戦する アジアでの熱い戦い 遠州から



スタート前の鈴鹿サーキットのバドック。メカニックたちはマシンの整備に余念がない。時折、耳をつんざくレーシングエキゾーストが響きわたる。レースに向けて集中力を高め、静かに闘志を燃やすライダー。その緊張感は取材する我々にも確実に伝わってきた。決勝のAP250クラスではクシタニがサポートするAstra Hondaが見事1、2フィニッシュを獲得。ライダーの感情が頂点を迎える瞬間だ。





We create the safety world.

www.kushitani.co.jp



ものづくりの 原点に立ち返る。

クシタニの歴史は、浜松市内で革製の衣類などを製造していた頃、ススキのレース担当者が革ツナギを注文したことに始まる。当時の日本には革ツナギなど存在せず、創業者の榎谷穂子氏は詳しい情報も無い中で見事に「日本初の革のレースウェア」を作上げた。

榎谷氏がKUSHITANI Thailandを立ち上げた時も、創業当時とイメージが重なる。「タイでの会社設立は、店舗もスタッフも何

もないところから始まりました。そういう意味では創業と似ているかもしれません。ですが祖母や先代の父と比べ、私には25年という経験のアドバンテージがあります。その分スピード感をもつてやってこれました。いろいろな事がありますが、祖母も昔こんな経験をしたのかなと思いつながら、貴重な経験をさせてもらっています。」

「レースはクシタニの原点です。お客様もそういう方が多いと思います。クシタニというブランドが続いてきたことも、レースを通し

て常にライダーの安全を考え、製品の改良を行ってきたことが、今につながっているのだと思います。」

仲間との出会いが 可能性を広げる。

レースとともに歩んできたクシタニ「アジアでのサポートで、改めてその想いを強くしている。」

KUSHITANI Thailandでは現在6名のス

タッフが働いている。キーマンは最初に採用した女性スタッフのメイさん。

「スタッフを募集した時、英語を理解できたのがメイさん一人。それで即採用を決めました。今のスタッフたちも全員彼女の身近な縁からの紹介です。彼女は言葉だけでなく、能力も優れています。最近では私の代理としてマレーシアの代理店でのプレゼンテーションに参加。初体験にもかかわらず、見事に大役を果たしました。」

「私はアジアでものづくりだけでなく、人づくりも行っていきたいと思っています。タイ人のスタッフは業界は未経験ですが優秀です。



レーシングスーツを修理するメイさん(左)とトウーさん(右)。彼女ら現地のスタッフが、KUSHITANI Thailandを牽引する。

アジアから、 もう一度世界へ。

2018年には、ARRCでタイを拠点とするAstra Honda、AP Honda、2チームのサポートを開始。タイ国内レーシングの登竜門、タイタレントカップの全ライダーをサポート。さらにCEVでは小椋藍、國井勇輝をはじめとする4名のライダーをサポート。アジアタレントカップからは鳥羽海渡、佐々木歩夢らの選手がMoto3へと羽ばたいた。2016年から始まったクシタニの挑戦は、既に世界へと広がっている。

「アジアのライダーが世界へ挑戦するとき、私たちも一緒にサポートをしていきます。タイ製のレーシングスーツづくりも、縫製担当のトウーさんがアッセンブリをできるように、目標に近づいています。彼らと共に、歩みを進めていきたいと思います。」

そう語る榎谷氏の眼には、確実に世界を捉える熱き情熱が見えた。

※レブソリンターナショナル選手権。現チャンピオンのマルクマルクス選手らを輩出。ここでの活躍がMotoGPに直結する。



AP250に参戦する中原美海選手は高校生。バイクにまたがり集中する表情は真剣そのもの。バック裏では、ライダーの乗り替わりに対応したネームの付け替え作業。8耐参戦用だが、チームとの受け渡しはサーキットも多いそうだ。ライダーの命を守るレーシングスーツ。サポートカー内で熟練スタッフが着実に作業を行う。ここにもクシタニの安全を第一にするポリシーが貫かれている。



Made in Enshu の流儀。



シートのデザインにはツートンカラーと3本ラインの意匠を盛り込み、形状も「KATANA」独自の流れをくむものに。また、グリップの良いシート表皮を採用することによりライディング時のマシンホールディング性を向上させ、人車一体感を演出。



新設計のLEDリヤコンビネーションランプと、リヤターニングナルを備えライセンスプレートホルダーが一体となったスズキ初となるターニングナル付スイングアームマウントリヤフェンダーを採用。よりシートテール下をすっきりとさせる外観を表現。



「GSX1100S KATANA」の角形デザインをイメージするLEDヘッドランプは、ロービームで上段、ハイビームで上下点灯する2段式。刀の切先をイメージした造形のウイング先端に装備されたLEDポジションランプにより「KATANA」の鋭い顔を表現。



軽量コンパクトなフル液晶ディスプレイ多機能インストールメントパネルを採用。フル液晶ディスプレイとすることで、豊富な情報をライダーに提供。背景が黒のネガタイプ表示を採用し、6段階の輝度調整が可能。



水冷4気筒4ストロークDOHC 998cm³エンジンは、GSX-R1000エンジンをストリート用にチューニング。109kw (148ps) のパワーを獲得するとともに、スムーズなスロットルレスポンスと鋭い加速を誇り、エキサイティングな走りを実現する。



アルミ製ハンドルバーはテーパー構造となっており、剛性を高めつつ重量を軽減。ブラックアルミマウント仕上げとすることで高級感を演出している。



「KATANA」を作り上げた情熱は、失われることなく受け継がれた。

スズキが新生KATANAに込めたものづくりの情熱。それはGSX1100S KATANA初代を手がけた時から失われることなく受け継がれてきた。

GSX1100E(初代)GSX11000(新生)というベース車を独自の思想で鍛え上げ、ストリートバイクとして唯一無二の斬れ味を手に入れたという共通のストーリーを持つ両車。そのスタイリングに注目が集まるが、初代でハンスムートを中心とするターゲットデザインが手がけたのはマスターデザインのみ。その量産化にあたりスズキ社内チームが各部を再設計し、開発全般を担当して仕上げたことで独自の存在感が完成した。今回の開発では、一目でKATANAとわかるカタチを維持しながら、現代のバイクとして高い基本性能と扱いやすさを両立するため、スズキは社内技術を集結し、一丸となって研ぎ澄まし新生KATANAを作り上げた。

鋼の塊を鍛え上げ日本刀へと作り上げる刀鍛冶。その魂にも通ずるスズキのものづくり精神。今もこの遠州の地に熱い情熱が燃え続けている。

スズキのクラフトマンシップが、全く新しい日本刀を生んだ。

新生KATANAのコンセプトは「新たなストリートバイクの伝説を鍛造する」。スズキのレガシーであるKATANAの名を継承し、現代に適用する高次元の性能に鍛え上げる。



SUZUKI KATANA
メーカー希望小売価格 1,512,000円 (消費税抜き 1,400,000円)

のコンセプトを見事に昇華させ、ライダーが自在に操り、走りの楽しさを十分に味わえるマシンに仕上がっている。

短時間の試乗でも、そのしなやかな乗り味や上質なエンジン性能に感動させられた。名機GSX-R1000から由来のエンジンは、低回転からスムーズで力強いトルクを発揮。少し幅広いバーハンドルとアッパライクな乗車姿勢は積極的なライディングに対応。ライダーはその気にさせる楽しさを与えてくれる。

名車と言われる初代のイメージを壊さず、現代に相應しいバイクとして創造する。今回のプロジェクトは、スズキにとって大きな挑戦であり、異例とも言える短い開発期間もさらにハードルを高くした。その挑戦に立ち向かい具現化したのは、デザインから設計テスト、生産の全技術者が理念を共有して性能を高めていったスズキが誇るクラフトマンシップ。

令和の時代に遠州から誕生した現代の新しい名刀。その懐の深い斬れ味を、ぜひ多くのライダーに味わってほしい。

スズキの60年を超える二輪生産史で伝説と呼ばれるバイク。その名は「KATANA」。斬新なスタイリングは時代を超えて色褪せることなく、登場から約40年を数えて絶版車となった今も輝きを放つ。多くのファンが新型を待ち望み、新時代を迎えた令和元年。待望の新生KATANAが国内に登場。新たな伝説は遠州の地から走り出す。

9月15日(日)、天浜線・フルーツパーク駅がKATANA駅に変わる?! 当日、天浜線天竜二俣駅で、KATANAラッピング列車の出発式を実施。フルーツパーク内特設会場でKATANAミーティング2019を開催!詳細は、P.45をご覧ください。



Right Place, Right Time.

Enshu
Sias's
Choice!

エンシュアスト 工務店

クルマ、バイク、キャンプ、キッチン、音楽、サーフィン・・・
熱中人なら誰でも自分だけの趣味や仕事を謳歌するための秘密の箱がほしいもの。
お気に入りのクルマやバイクを一晩中愛でていられる専用のガレージから、アイデア満載のキッチンカー、いやいやいっそ自慢のビルトインガレージまで、熱中人なら誰もがほしい「隠れ家」をエンシュアストならではの視点で選りすぐりました。



Leather For Real Riders



WESCOという選択。

ギアを変える。ブレーキを踏む。ステップに荷重する。ライダーにとってどんなブーツを選ぶかが、走りの質を左右する。同時に、ライダーのスタイルを決める重要なパーツでもある。レプリカVSヴィンテージ。フェイクVSリアル。その選択は、まさにライダーの生き様そのもの。HORSESHOE-BENDが選んだWESCOブーツ。走り続ける真のライダーが選ぶ本物がここにある。



HORSESHOE-BEND

Langlitz Leathers Dealer, WHITE'S BOOTS, Vintage Harley

ホースシューベンド
静岡県浜松市北区細江町気賀1769-1
TEL 053-525-9985 営業時間 11:00~19:00 水曜定休



できたて料理を提供でき、店舗を構えるよりもコストを抑えられると人気を集めるキッチンカー。「ダイナオガレージファクトリー」を経営する大石博和さんの愛娘であり、バティンエの紗矢香さんが、キッチンカーでシフォンケーキの移動販売を考えていた。しかし、大石さんには思いつかなかった。「車の都合が優先され、店主の個性を感じられるものが少ない。だったら俺がキッチンカーを作る」。

「機能性や作業効率だけを求めるとどうしても味気なくなっちゃうし」と笑う大石さん。もちろん、紗矢香さん立ち合いのもと作業動線を確認し、シンクの向きや什器の高さなど、微調整を繰り返しただけあって、使い勝手は申し分ない。「見た目のインパクトもあって、お客さんも自然と集まってくる（笑）。父とはくららない話ですが仕事や経営の話もするようになったのは私が成長したからかな」と照れ笑いする紗矢香さん。



車内にはお気に入りの雑貨が並び、見ているだけでワクワクしてくる。ダイナオガレージショールームにて週末営業中。詳細は「SAYA SWEETS」で検索を。



地元遠州で採れた安全で、新鮮な卵や小麦を原料に使い、ふんわりと軽いシフォン生地が特徴。いちごやチョコレートなどをサンドしているので食べ歩きにぴったり。いちご450円、チョコレート400円、アイスコーヒー350円



父親から起業する娘へ贈る ダイナオ流キッチンカー

有限会社ダイナオ【磐田市】

ダイナオ ガレージ ファクトリー

Enshu
Siast's
Choice!

KAKEGAWA FACTORY



見えない所も気を抜かず、作る工程もかっこ良く



2003年、自身のバイクガレージから始まった「ダイナオガレージファクトリー」は、これまで約600棟を手がけてきた。受注生産による個性あふれるガレージは、静岡だけでなく日本全国から注文の声が届く。納品時には隠れてしまう部分にもオリジナル防湿シートを使うなど、品質へのこだわりと美意識を随所に感じる。

お問い合わせ：有限会社ダイナオ
TEL. 0538-55-6655

営業時間：10:00～18:00 定休日：火曜日/第2・第4水曜日
〒437-1203 静岡県磐田市福田 3101-1

OWNER'S GARAGE



1995年式ハーレーダビッドソン ダイナローライダー、1970年代のシボレーC10ピックアップ、トヨタFJクルーザーを格納。ガレージ内にはメンテナンス用の2柱リフトや、友人と遊ぶダーツマシンがあり、まさにホイールジャンキーの秘密基地。奥の階段を上るとプライベートルームがあり、ホットウィールのミニカーやアメ車のプラモデルなどが積まれている。2階から愛車を眺めるのが至福の時間。

愛車+αの空間に 仲間が集う秘密基地

Enshu
Siast's
Choice!

株式会社小林建設【菊川市】

リノベーションガレージ

車が大好きな小林さんのガレージに、先輩の黒田さんがふらつとやってきた。ここは菊川市内の緑に囲まれた場所。倉庫のシャッターを開けると、1963年式、トヨタクラウンが堂々たるいでたちで出てくれた。

「外車ではなく、大きなサイズの日本車。大衆車ではなく、個性ある面白い車を探していて、横浜のムーアアイズで見つけ「目惚れ。結婚が決まり、お金を自由に使えるうちに買ってしまった」と（笑）。逆輸入車なので、左ハンドルなのも気に入ってます」と話すのは、クラウンのオーナー小林さん。その隣にいる黒田さんは、工場建設や基礎工事、躯体工事などを手がける有限会社ARCKの社長であり、小林さんを車の世界に引き入れた張本人でもある。もともと2人は高校の先輩後輩で、アメ車好きの黒田さんのマッスルカーやコルベットに乗ってやんちゃな青春を謳歌したとか。現在は黒田さんが基礎工事、小林さんが大工仕事や内外装を行って一軒の家を建てる、仕事上のパートナーとしても付き合いが続いている。

小林さんは2年ほど前に、それまで資材置き場になっていた倉庫をガレージにリノベーションした。ガレージを作りたいというお客さんがいると、実際に見せたりしているという。ショールームも兼ねて、木目や仕上げ、板の幅が異なるさまざまな板材を使い、施工サンプルとして見せている。無機質になりがちなガレージも木で仕上げたことで、落ち着いた空間になった。照明は古民家を解体したときに引き取ったアンティークを使用。壁の片面には歴代の車のホイールキャップやサーフボードをディスプレイ、もう一面



お問い合わせ：株式会社小林建設
TEL. 0537-36-1865
携帯080-5106-8462
菊川市西方5466-1

はお気に入りの雑貨が所狭しと並び、多趣味な小林さんならではの秘密基地が完成した。

「仕事が終わった後にボンネットを開けてエンジンを見たりするほかは、ボートのんびりすることが多いです」と小林さん。「このガレージが気持ちいいのは、+αの空間があるからなんだよ」と黒田さんが解説してくれる。確かに愛車の横には、テーブルを置いて仲間が集まれるスペースがある。「ビールを手に、車を見ながらあれこれ話す時間が楽しんだよね」と自宅でもガレージライフを楽しむ黒田さんが笑う。

小林さんにこれからのことを尋ねると、「冬はエアコンがなくて寒いから、暖炉が欲しいですね」と。「車のそばで暖炉は危険だろ」とツツコミを入れる黒田さん。「それなら仕切り壁を設けたらいいかもしれないですね。暖炉じゃなく、薪ストーブにすれば設置も簡単だし。」「だったら……」と、建築のプロである2人の妄想がふくらんでいく。こんな2人をお願いしたら、クルマ好きの気持ちに同じ目線で共感して、楽しくなるガレージ空間を作ってくれるに違いない。

ON ANY OTHER DAY

熱中人がゆえに、趣味が高じて結局仕事になってしまうのであった…。



24歳から始めたサーフィンがきっかけで、ハワイが好きになったのは自然な流れだった。

8年ほど前、ハワイのローカルスイーツ「マラサダ・ドーナツ」と運命的な出会いをし、奥さまと一緒にお店をすることになった。1970年代のシボレーP10をカリフォルニアから輸入し、内装は小林さんが手がけた。「マウナラニ」という屋号で、静岡県内を中心にイベントに出店している。



例の案件
どう?

予定通り
進んで
ますよ。



遊び心あふれる空間。 建築家と作るガレージハウス。

Enshu
Sia's
Choice!

株式会社ジレノデザイン「浜松市」ガレージのある家



リモコンで開閉するオーバースライディングドアを備えたガレージ。スキーやゴルフ道具をさっと積んで、手間をかけずにお出かけできる。雨の日も寒い日も、気にせず出入りでき、防犯面でも優れている。



ご主人と高橋氏、ともに建築家フランク・ロイド・ライトに共感している。リビングの中に据えられたバイオエタノールの暖炉も、ライト的と言えよう。

ガレージの隣には、ご主人のジムスペース。スイングチェックや簡単なフィットネスを楽しむ。自宅で気が向いたときに体を動かせるので、気負わず自然に続けられる。



姫高麗芝がきれいに広がるお庭。ご主人がまめに手を入れている。鉄棒やブランコ、打ち放しなどアクティブな庭は、ウッドデッキを介して室内とつながる。

リビングのリクライニングチェアが、ご主人のお気に入りの場所。「子どもが座っていると「ここは僕の席だよ」と言って席を譲らせてます(笑)その後は子どもを抱っこしていますけど。」

「この家で暮らすようになって、快適すぎて外に出かけずに家で遊んでばかりいます。」そう話すオーナーご夫婦の顔には、やさしい笑顔が溢れていた。ここは佐鳴湖を望む閑静な住宅街。築4年になるN邸は、ビルトインガレージを備えた2階建ての住まい。

「高橋さんと出会って、ようやく理想の家を手に入れることができました。子どもたちもこの家とともに伸び伸びと成長しています。」順風満帆に見える今の暮らし。だがここに至るまでは、長い道のりがあったと言っ。

「家を建てよう」と決めてから、いろいろ回りました。ハウスメーカーや工務店のモデルハウスなど30軒以上周りました。プラン提案もしてもらいましたが、どれも自分が想う家とは程遠かったです。理想の家の実現に妥協をしたくなかったし、焦ってもいませんでした。そんな時間も楽しみながら、良い家を作ってくれる人との出会いを待っていました。今から思えば、高橋さんと最初に出会わなくて良かったのかもしれない。」

康な暮らしに欠かせない、住宅素材の大切さを知っていた。厳選した珪藻土の壁、無垢の床材、夏は涼しく、冬は温かく過ごすために大切なサッシや断熱材。子どもが健やかに成長できるゆとりとした暮らし。住む人に優しく、いままてにない家。「言えれば100年間住める家」それが住まいの理想形であった。

そんなNさんが高橋氏と出会ったのは、ある完成見学会を見に行ったとき。「目でその家に隠された家づくりに対する考え方を気に入り、その場で高橋氏と会話し、共感を覚え、プランの作成を依頼した。高橋氏はこう回想する。

「確か市野町の家の見学会でした。Nさんが想う家について話を伺い、それは設計がちゃんとできないと難しいでしょうね」とお話をさせてもらいました。その後、数軒、私が設計した家を見ていただき、そろそろプランを描きますかとお話ししました。」

Nさんの家への希望はかなり具体的だった。が、どんな住宅メーカーでも不可能であった。メーカーの家は既成のタイプから暮らし方に近いものを選ぶ方法、Nさんの場合は、ご自身

の理想に家を含わせる方法。建築家の高橋氏だから、希望通りに健康・快適・安心について考えられた家を設計することができたのである。

高橋氏は、ご夫婦の家にに関する希望、家族それぞれの興味や過ごし方などをヒアリングし、現状の問題点を確認。最初に提案したのはNさんが求めている「いままでにない邸宅」というコンセプト。Nさんもその案を気に入り、すんなりGOサインが出た。

「私が考える家とは、機能的な服づくりに似ています。着る人にフィットして着心地よく、動きやすい、シンプルで感じの良い服。そんな服をデザインする感覚で家を捉えています。住む人への聞き取りをするイメージが湧いてくるのです。」

理想の家のカタチは人それぞれ。いくらお金をかけても、住む人を無視しては理想の暮らしは手に入らない。建築家が住まい手の本当に求める暮らしをイメージできたからこそ「ごっつい家が欲しかった」と思える家を手にすることができたのだろう。



株式会社ジレノデザイン
一級建築士 高橋貴大

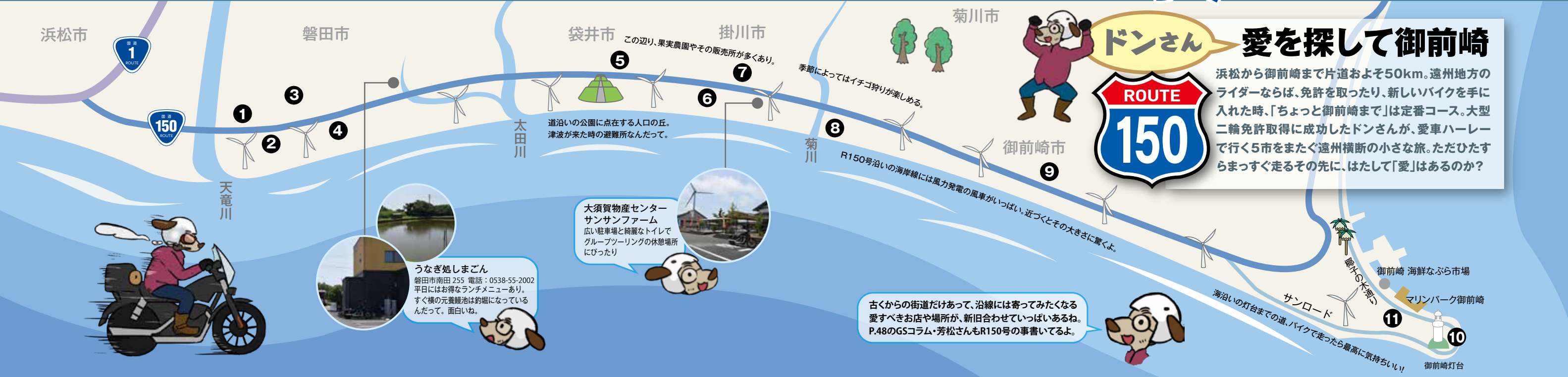
ハウスメーカーで住宅開発を行う傍ら、モデルハウスの設計を担当。2005年に「建築設計所」を開設。2018年、建築設計と写真事務所を法人化し、株式会社ジレノデザインを設立。住宅建築のみならず、小学校・工場・店舗と幅広い分野を手がける。写真家としても商業写真撮影のほか、モノクロ暗室部でフィルムカメラの良さを広める活動をしている。また自他ともに認めるバイク好きで、マン島に出掛けたりしている。静岡県建築士会会員、静岡県インテリアコーディネーター協会会員
<http://gerenodesign.co.jp>

お問い合わせ：株式会社ジレノデザイン
TEL. 053-465-3616

営業時間：月～金 9:30～18:00 定休日：土・日曜日/祝日(予約制)
〒430-0901 静岡県浜松市中区曳馬3丁目5-8

2019年10月にバイクガレージ(ホビールーム)付きローコスト住宅完成予定。見学会を開催します!

Route150, Seaside Road



Right Place, Right Time. バイクで行ける、エンシュージャストおすすめスポット



①カフェ レッドローズ

〒438-0235 磐田市白羽387-3
電話：0538-74-1454 営業時間：8:00～22:00
定休日：木曜日
www.facebook.com/bon3classic50/

天竜川を超えてすぐの場所にあるカフェ。趣味人のマスターのお楽しみがいっぱいの店。



②ライダーハウスKEN

〒438-0231 磐田市豊岡6788-1
電話：0538-66-7645
年中無休／要電話予約
www.ken21515.com・www.facebook.com/rh.ken/

気さくなKENママが運営するライダーのための宿泊施設。ママは現役バイク女子！愛車はトリシティ155。



③Picnic

〒437-1111 袋井市中新田331
電話：0538-23-6239
営業時間：平日・11:00～15:00 土日・11:00～20:00
定休日：水曜日

オープンから37年間変わらない、古き良き喫茶店。安くて美味しいランチを求めて昼時は駐車場がいっぱいに。



⑦大石農場ハム工房

〒437-1303 掛川市沖之須451-3
電話：0537-48-5618
営業時間：10:00～18:30 定休日：火曜日
www.oishi-ham.com

本場ドイツ製法で作られたソーセージ職人が作るホット
ドッグが人気。本格ソーセージはお土産にできる。



⑨Cook House 椿

〒437-1612 御前崎市池新田7560 電話：0537-86-7150
営業時間：11:30～15:00(金曜以外)
金曜日・11:30～15:00 / 19:00～22:00(LIVE)
定休日：月曜日・第一火曜日
www.liveintsubaki.info/cook-house-椿/

御前崎の無国籍食堂。通常はランチのみの営業。金曜夜はライブを演っている。ライブハウスとしても知られるお店。



⑩Cafe&Rest KOPI POT

〒437-1621 御前崎市御前崎1055-1
電話：0548-63-6620
営業時間：11:30～20:00 定休日：水曜日・不定休
kopipot.web.fc2.com

「LOVE」のウォールアートを眺めながら食べるバーガーは格別。こだわりの自家製コピ塩もおすすめ。



②お好み村 のりさん

〒438-0218 磐田市中平松449-3 電話：090-1628-3769
営業時間：11:30～14:00(LO13:30)/17:00～22:00(LO21:00)
定休日：月曜日・第2日曜日
www.facebook.com/お好み村-のりさん

特製ソースのお好みにはファンが多い。店主の調理パフォーマンも見所。暑い時期は自家製シロップのかき氷も。



④モトガレージ ベッカク

〒438-0212 磐田市海老島124-1
電話：0538-38-9094 営業時間：10:00～20:00
定休日：木曜日/ツーリング開催日
www.motogarage-beckak.com

旧車・希少車も並ぶ倉庫を利用した店舗。バイク好きならついつい長居してしまいそう。



⑥サヤ・スイーツガレージ

〒437-1203 静岡県磐田市福田3101-1
電話：090-6593-0066
移動販売もあるため営業についてはホームページで要確認。
www.saya-sweets.com

ふわふわの手づくりリシフォンケーキが大好評！愛情たっぷり、しっとりとした食感を召し上がれ。



⑧大東温泉シートピア

〒437-1413 掛川市国安2808-2
電話：0537-72-1126 営業時間：10:00～21:00
定休日：火曜日(祝日の場合は営業)
www.seatopia.info

スペイン瓦と白壁が基調の南欧米風のリゾート温泉。豊富な種類のお風呂と隣接施設で食事、休憩とのんびり過ごせる。



⑩Pacific Cafe Omaezaki

〒437-1621 御前崎市御前崎1565-2 電話：0548-63-1100
営業時間：月・火・木11:00～18:00(LO17:00)
金・土・日・祝11:00～22:00(LO21:00) 定休日：水曜日
www.pacific-cafe-omaezaki.com

太平洋の海を一望できるカフェ。地元の食材を使用したハワイアンテイストの手作り料理・スイーツ・ドリンクが魅力。



KOPI POT前の堤防壁に大きく描かれた「LOVE」ここに「愛」はあった!

※営業時間・定休日に変更となる場合がありますので、ご来店前に各店舗にご確認ください。

わたしをオートレースに連れてって!!

大人気シリーズ好評第2弾!!

<あるカップルの休日>



■浜松オート体験レポート



なんと!入場無料!



HAMAMATSU RIDER'S STREET

1980~90年代に一世を風靡した「上野バイク街」。用品店・ショップが軒を連ね、バイクに関するあらゆるものが揃っていた。2019年、バイクのふるさと浜松に、新たなバイク街が誕生。我がエンシュージストはこう名付ける。「HAMAMATSU RIDER'S STREET」。

エンシュージスト編集部のお手伝いで浜松ライダーズストリートへ。ツーリング準備のために探していた荷物を固定するネットをついでに探しちゃいました。キャリアケースは大変だし、サイドバッグは高いし...初心者なりの応急手当です。探すと、狙い通りのアイテムが! 大ぎめのバックパックも強めに固定してくれて、落ちる心配はなさそう。見た目もシンプルで気に入りました。

グッドラック土井です!

納車されてからまだ一年以内の初心者ライダー。乗ってすぐ保護者に囲まれたおかげで、楽しいバイクライフを送る。これからは経験値と、周りのアイテムから攻略する所存。愛車:CB223s

P32の「エンシュージストガールズ」にも登場します! そちらもみてね!

言わずと知れたイオンモール。バイク関連以外でもなんでも揃ってる!

ホットドッグは会員登録なくても食べれるよ!

この近辺、週末はコストコ、イオンモールの洗車に注意!

これで荷物もバッチリ載せられる!

ハ〜イ!

今日も一週りしてみるか!

ライダーズストリートを探検したら一日あっても足りないくらい!

六間道路

宮竹交差点

柳通り

自動車街

8

7

6

5

4

3

2

1

1 HYOD PLUS Hamamatsu
〒435-0051 静岡県浜松市東区市野町2732
TEL:053-465-8282 FAX:053-465-8280
定休日 火曜日
www.hyod-products.com

2 ナップス浜松店
〒435-0047 静岡県浜松市東区原島町525
TEL:053-411-1170
定休日 水曜日
www.naps-jp.com/shop/10037

3 フロントロー
〒435-0043 静岡県浜松市東区宮竹町200-1
TEL:053-468-1661 FAX:053-468-1662
定休日 木曜日 第3金曜日
www.goobike.com/shop/client_8600045/

4 南海部品 浜松店
〒435-0016 静岡県浜松市東区和田町847
TEL:053-463-0111
定休日 火曜日(祝日の場合は営業)
www.nankaibuhin.co.jp/shop/shop-information/nankai-hamamatu

5 アップガレージライダーズ浜松店
〒435-0016 静岡県浜松市東区和田町875
TEL:053-462-1133 FAX:053-462-1916
定休日 火曜日(祝日の場合は営業)
www.upgarage.com/shop/563

6 レッドバロン浜松本店
〒435-0043 浜松市東区宮竹町699-3
TEL:053-466-6200 工場直通:050-3381-0509
定休日 水曜日(祝日の場合は営業)
www.redbaron.co.jp/shop/tokai/shizuoka/157_hamamatsuhonten.html

7 スズキワールド浜松
〒430-0802 静岡県浜松市東区将監町37-3
TEL:053-464-8198
定休日 水曜日、第二火曜日
www2.suzuki.co.jp/bikeshop/suzuki-world-hamamatsu

8 ハーレーダビッドソン浜松
〒430-0803 静岡県浜松市東区植松町1476-2
TEL:053-466-3210
定休日 火曜日・第2・4水曜日
www.harleydavidson-hamamatsu.com

真剣勝負の緊張感とアミューズメントな楽しさ。生のレースの迫力を是非体験してみてください！



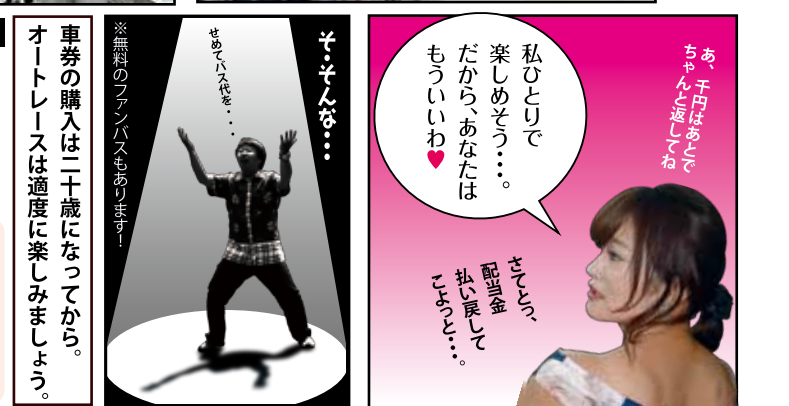
走路内観戦は、本場開催の土日を中心に抽選で20名をご案内。詳細はホームページ (<http://www.hamamatsu-auto.jp>)、または場内掲示での告知をご確認ください。



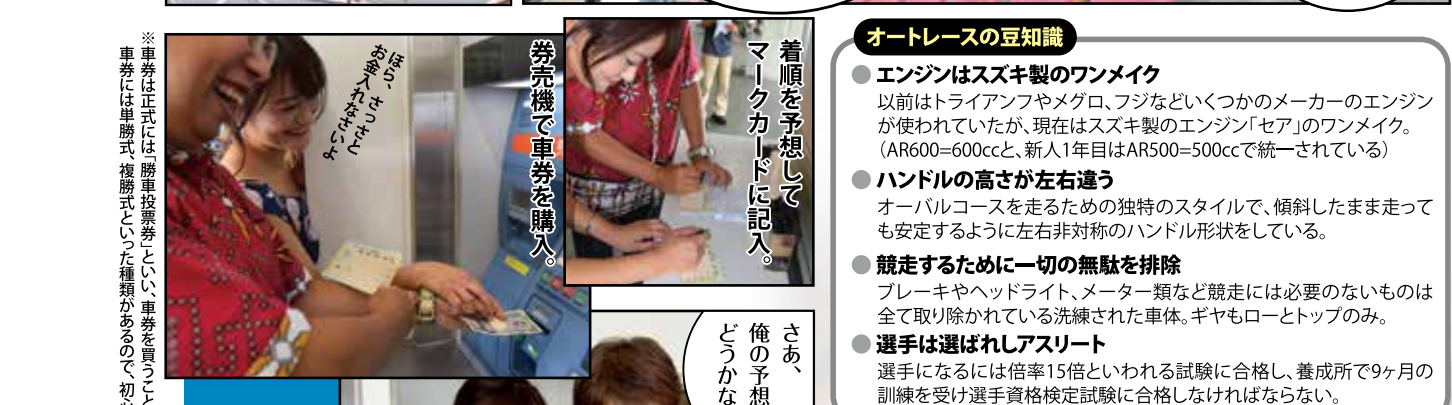
グリーンスタンドは冷暖房完備で快適にレースが観戦できます。本場開催のみ200円の入場料が必要。場外発売時は終日無料。

取材協力
浜松オート
 浜松オートレース / <http://www.hamamatsu-auto.jp>
 〒433-8125 浜松市 中区和合町 936-19 TEL 053-471-0311

今回も彼女役
 mitsunoshima jam artist
Ayako Agehari
 手作リジャムの「ミツノシマ」主宰。前回到続き、彼女役を引き受けてくれたAyakoさん。オートレースの迫力と場内のフレンドリーな雰囲気をとて気に入ってくれた様子でした。
<https://www.facebook.com/Mitsunoshima/>



※走路内では赤旗（競走停止）との混同を防ぐため赤い着衣は着用不可。携帯電話、帽子のように風に飛ばさうなものも持ち込み禁止。

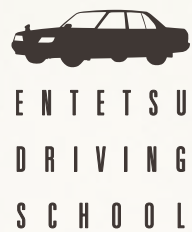


オートレースの豆知識

- **エンジンはスズキ製のワンメイク**
 以前はトライアンフやメグロ、フジなどいくつかのメーカーのエンジンが使われていたが、現在はスズキ製のエンジン「セア」のワンメイク。(AR600=600ccと、新人1年目はAR500=500ccで統一されている)
- **ハンドルの高さが左右違う**
 オーバルコースを走るための独特のスタイルで、傾斜したまま走っても安定するように左右非対称のハンドル形状をしている。
- **競走するために一切の無駄を排除**
 ブレーキやヘッドライト、メーター類など競走には必要のないものは全て取り除かれている洗練された車体。ギヤもローとトップのみ。
- **選手は選ばれしアスリート**
 選手になるには倍率15倍といわれる試験に合格し、養成所で9ヶ月の訓練を受け選手資格検定試験に合格しなければならない。

詳しくはオートレースオフィシャルサイトをチェックしてね！
http://autorace.jp/autorace_guide/

金田悠加選手



EDS

お知らせ



<https://entetsu-drivingschool.co.jp/>

ホームページ
リニューアル

坂道はひとつじゃない。
上り方もひとつじゃない。

挫折しそうな時、不安になった時、迷った時
後押ししてくれる先生がいる。仲間がいる。

そして成長できた自分もいる。

勇気づけられた数々の言葉。

遠鉄の自動車学校には、いつでも前向きな空気が流れてる。



遠鉄自動車学校
〒435-0056 静岡県浜松市東区小池町 1552
TEL 053-462-1221

遠鉄袋井自動車学校
〒437-1121 静岡県袋井市諸井 1 2 3 8
TEL 0538-23-2355

浜松自動車学校
〒435-0046 静岡県浜松市東区丸塚町 1
TEL 053-461-9221

遠鉄浜岡自動車学校
〒437-1612 静岡県御前崎市池新田 3 6 8 8
TEL 0537-86-2220

遠鉄磐田自動車学校
〒438-0086 静岡県磐田市見付 5015
TEL 0538-32-7200

遠鉄中部自動車学校
〒425-0074 静岡県焼津市柳新屋 771
TEL 054-639-6666

株式会社遠鉄自動車学校



いつかは革つなぎを着て
R1に乗りたい。



サイズもカラーもフルオーダーで
作ってもらったライディンググローブ。
カラーリングは、バイクの色と、女
性らしい華やかな色を使いました。

名倉 亜希子さん
YAMAHA YZF-R25 2018

数年前、サーキットで見たバイクのスピード感と音に魅了されて
自分も乗ってみたいと思いました。教習中は何度も転んで苦
劳しましたが、やっとなつとづつ乗れるようになってきて、操
る楽しさと、バイクならではの景色、自然を感じられるのが嬉
しいです。車の運転もライダー目線が加わって、より安全運転
を心がけるようになりました。バイクメーカーが集まっている街
なので、もっと女性ライダーが増えて欲しいと思います。

バイクの旅に憧れて。



土井あかねさん
HONDA CB223S 2008

バイクで旅することに憧れがあったん
です。YouTubeでバイク関連の動画をみて免許を取ろう！
と決心しました。バイクに乗ることという人なや場所に出
会えました。簡単に県外へ行けるようになっちゃいま
した。CBは、シンプルなティアドロップタンクが気に入
って、オークションサイトで落札しました。今はボロボロな
ので、余裕ができたなら綺麗にしてあげたいです。



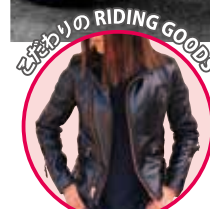
先輩方のアドバイスで、バイ
クに乗る時は、薄着でも必ず
インナープロテクターを着け
るようにしています。

P.28の
ライダーズストリート
にも登場してます！
そちらも見てください！



鈴木麻帆さん
DUCATI Scrambler Icon 2016

バイクの魅力は車では味わえない空気の気持ちよ
さですね。目的地までの道のりが単なる移動ではな
く、楽しめるものなんだって知りました。このスクラ
ンブラーはルックスに一目惚れでした。思った以上
に扱いやすいし、デザインも乗り味もドゥカティが
ピカイチだと思っています！ドゥカティ乗りの女性が
もっと増えて欲しいと思っています！



見るだけのつもりが袖を通して即決！バ
イクに跨った状態でも採寸してもらっ
た、セミオーダーのライダース。一生モノ
なので大事に育てていきたいです。

伊藤地香さん
Triumph Bonneville T140 1980

トライアンプのスタイリングに一目惚れして「これに
乗りたい！」と、免許を取ることを決意しました。エス
トラ250で経験を積み、念願のトライアンプを手
に入れて、もう12年乗り続けています。走ることが今
の私の唯一の楽しみですね(笑)。バイクという共通
の話題で盛り上げられる友人もたくさんできました。こ
れからも、ずっとトライアンプ一筋です。

人生に迷った時は、とりあえず、乗る！



ドゥカティ乗りの女性が
もっと増えて欲しい！



阿部久夫（ヘンリー・アベ）

HISAO ABE / HENRY ABE

（株）デイトナ創業者・相談役

1942年生まれ、福島県出身。工業高校卒業後、ヤマハ勤務を経て、（株）デイトナを創業。アメリカでの経験を糧に、日本のバイク業界に様々な変革を起こし続けてきた。現在も相談役として、バイク業界の発展に尽力する。



1976年、本社を静岡県磐田市に移転。写真は移転当時の本社。バイク好きの若者がぞくぞく入社してきた時代だった。

エンシュージアスト経営学

「バイク文化創造企業」としての あくなき挑戦。

ヘンリー・アベと株式会社デイトナ。
創業から世界挑戦に至る、知られざる歴史をいま、紐解く。



まだスポークホイールが一般的だった時代。アメリカで作られ始めたキャストホイールに目をつけ、スポークを奇数の7本とすることでバランスの良いホイールが完成。タバコの銘柄にあやかり「セブンスターホイール」と命名した。黎明期の日本のアフターマーケットに大きな影響を与え、その多くは本家アメリカにも輸出された。日本企業によるものづくりが、本場でも高い評価を得た好例である。

自由にバイクを楽しめる 環境を日本にもつくりたい。

デイトナの創業者、ヘンリー・アベ（以下、阿部氏）。その半生は常に「挑戦」の2文字とともにあった。

バイクとの出会いは小学生のころ。近所のおじさんがバイクに乗る姿を見て、素直に「カッコイイな」と憧れたのが原点だった。工業高校を卒業後、日本楽器製造（現ヤマハ株式会社）に就職。入社早々バイクにしか興味のない阿部氏は、人事部であった寮長に「バイクの仕事をしたい」と直訴。幸い会社も二輪事業への配属を決めており、希望通りバイクづくりに携わることができた。配属先はエンジン担当の設計課。仕事は当時の先端であったアドラーやDKWなどの欧州車をばらし、実物から図面を起こして、バイクづくりの技術を蓄積することだった。その後「若く丈夫で惜しみなく働く人材が欲しい」という要請で、USヤマハに派遣された。

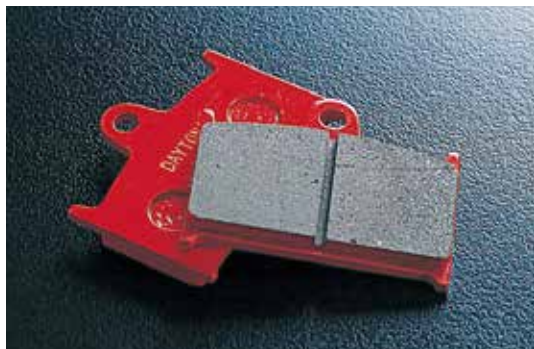
現地ではパーツ管理やメカニクの講習に営業、

広い視野を持つて バイク業界の可能性をさぐる。

創業のきっかけはアメリカ時代の友人が独立する際「ヘンリーも何か自分でやってみたいか」という問いだった。アメリカ時代の友人が独立する際「ヘンリーも何か自分でやってみたいか」という問いだった。アメリカ時代の友人が独立する際「ヘンリーも何か自分でやってみたいか」という問いだった。アメリカ時代の友人が独立する際「ヘンリーも何か自分でやってみたいか」という問いだった。



1982年、スポーツバイク用パーツとしてスタビライザーを開発。当時の車両はフォークも細く、走行が安定するとライダーから高い評価を得る。



1984年にはブレーキパッド「赤パッド®」を発売。現在も販売が継続するデイトナのロングセラーに。

言われたこと。友人の挑戦に触発され、特に当てもなく会社を辞めると、阿部商事という小さな貿易会社を大阪で立ち上げた。その時代に企画した代表作にセブンスターホイールがある。メーカーの純正ホイールはスポークが当たり前の時代。アメリカで作られ始めたキャストホイールに独自の改良を加えて製品化。スポークの本数を奇数にすることで、バランスの良いホイールが完成した。日本では、カスタムという言葉も定着しておらず、アフター市場に大きな影響を与えた画期的な製品であった。1976年には静岡県磐田市に移転。前後して「デイトナ」というブランド名を使い始めた。その由来はヤマハ時代にさかのぼる。メカニクとしてチームとともにAMAのレースをサポートし、全米中からバイク好きが集まるデイトナパ

イクウィークに参加した。そこで見たのは、OBI 750やGL1000にタンデムして訪れた年配夫婦の幸せそうな姿。聞けばシアトルから東海岸のデイトナまで、大陸を横断してやってきたという。アメリカではバイクが社会に受け入れられていると感じた瞬間だった。その記憶が鮮明に残っていて、そんなバイク文化を日本にも、という想いも込めてブランド名に採用した。現在主流となっている大型バイク用品店の先駆けも、デイトナが立ち上げたライコンダであった。横浜にできたトイザらスを視察した阿部氏。その多様な品揃えと楽しんで買物をする家族を見て、これからはバイク界もそうなるに違いないと思った。常に他の業種にも目を配り、自分たちの業界に応用できないかと可能性をさぐる視野の広さと先見の明があったのである。



挑戦をしない後悔より、 挑戦をして後悔したほうがいい。



デイトナの社員は、バイクを熟知したライダー集団。グループ制により商品の企画から販売まで一貫した体制で、ユーザーが必要とする商品開発を行う。またGIVI、NOLAN、MOTOREXの正規代理店として、日本のライダーに合わせた独自の提案を行い、代理店を超えたパートナーとして高く信頼されている。近年は折りたたみ式電動アシスト自転車「DE01」やバイク用サスペンションをつけた耕運機などの新規事業も積極的に展開。あくなき挑戦を続ける哲学が、ここにも息づいている。

いればきつと楽しいから。たとえ結果が良かったとしても、挑戦がなかったら本当に良いとは言えない」

「いろんなものを興味を持って「見る」意識を持って欲しい。見ていれば何かのときに、ヒントになることが必ずある。見なかったらおそらく何も生まれない」

これからのデイトナについては「チャレンジ精神

を忘れずに、良い会社に変えていつて欲しいと思う。良い会社とは成長を続ける会社。成長を続けるにはバイクに限らず、お客様に喜んでもらえる分野にどんどん挑戦して欲しい」と語った。

常に挑戦をしてきた阿部氏の哲学は、今もデイトナの社員一人ひとりに脈々と受け継がれている。ライダーのために、様々な挑戦を続けていくデイトナの今後を我々も注目していきたい。

フェアな土壌で 正々堂々と戦いたい。

阿部氏がビジネスで大切にしていたのはフェアという言葉。重要な判断を迫られたとき「フェアかフェアじゃないか」といつも考えたという。長年ビジネスをしていて、時には難しい立場におかれたこともあったという。そんなときに、自分だけが得をするのではなく、相手や周りが得になるように動いたら、徐々に物事も前に進み始める。

日本で自由にバイクカスタムを楽しめるようにするには、バイクを取り巻く健全な環境づくりが必要であった。今でこそバイクのカスタムは多くの支持を集めているが、以前はバイクをカスタムする＝不正改造とネガティブに捉えられた時代であった。

1989年、阿部氏は用品店や他のメーカーとともに、JMC A(全国二輪車用品連合会)という団体を設立。法律に適合したパーツの推奨、不良品や不正改造車の掃など、バイクが社会に与える悪影響を排除していった。社会全体がバイクを肯定的に受け入れ、そこで正々堂々とビジネスをしたいとの想いだっただ。今やJMC Aのメンバーは、法適合の証として広く認知されている。現在はライダー自身の安全を守る胸部プロテクターの普及に力をいれている。これも阿部氏の「バイクは楽しくなければいけない。安全に楽しめることが一番大事」という考えに合致する。

日本のバイク文化を語るとき、市民権がなければ

チームデイトナが 表彰台の頂点に。

は文化とは言えないと阿部氏は言う。日本でバイクが社会的に認められているかという「イエス」であり「ノー」である」という。バイクという狭い世界だけでなく、日本の社会を良くしたいというフェアな姿勢が、ライダーが気持ちよくバイクを楽しめることに繋がるはずである。

元々レースが好きで阿部氏は、いつかレースに参戦したいと考えていた。機が熟したのは1986年。チームデイトナとして全日本に参戦を開始した。80〜90年代は日本の二輪レースが熱い盛



1985年、社名を「株式会社デイトナ」に変更。本社を磐田市岩井に移転。

り上がりを迎えた時代。プライベートでの参戦だが、ファクトリーには負けたくないというチャレンジ精神でレースに挑んだ。

2002年、その活動が頂点を迎える。鈴鹿サーキットで開催された世界GPのシーズン初戦、250クラスにスポット参戦した宮崎敦選手が独走で優勝。阿部氏は感動する宮崎選手とともに表彰台へ。チームデイトナが世界のトップを勝ち取った。プライベートでファクトリーに勝つという長年の夢が実現した瞬間だった。

「レースは熱中するという熱意がなければダメ」と阿部氏は語る。レースに勝つには、ライダー、マシン、タイヤ、メカニック、チームの全てをベストな布陣で臨む必要がある。さらに熱意がチー



1995年、全日本ロードレースSUGO大会GP250クラスで、チームデイトナ宮崎敦選手のアプリリアRSV250Rがワークスマシンをおさえて初優勝。

ムの士気を高め、マシンをゴールへと走らせるのである。

ヘンリー・アベの経営哲学は 今も社員の心に根付いている。

創業以来、先頭に立って走り続けてきた阿部氏は、現在では相談役として会社を見守る立場にいる。

今回のインタビューでは、ご自身の経験を振り返りながら、人生のヒントにつながる様々な言葉をいただいた。

「挑戦をしない後悔より、挑戦をして後悔したほうがいい。結果が良くても悪くても挑戦して



2002年、チームMOTOREX-DAYTONAの宮崎敦選手が、世界GP SKYY VODKA GRAND PRIX OF JAPANにワイルドカード参戦し、世界戦初優勝。

2001年、周智郡森町にテストコースを併設した新本社完成。物流拠点を併設、東西の中心という好立地を活かし、全国へ商品を発送している。社屋前に歴代の社長が揃う。左から織田社長、阿部相談役、鈴木会長。





本場ドイツの製法で作る、 愛情の込められたソーセージを味わう。

大石農場ハム工房 【掛川市沖之須】



静岡県掛川市沖之須451-3
TEL.0537-48-5618
営業時間／10時～18時30分
定休日／火曜日
www.ooishi-ham.com



MENU ▼

ホットドッグ ¥500、IZEE (フルーツスパークリングジュース) ¥500、マイティリーフ (紅茶) ICE/HOT ¥400、ロイヤルミルクティ ICE ¥550、
ホットコーヒー ¥350、アイスコーヒー ¥400、アルコールフリービール ¥500

国道150号を少し入ったところにある小さなお店。本場ドイツの国際コンテストで金賞の受賞歴がある大石善弘さんが開いたハム・ソーセージ工房。歴史あるドイツ製法を忠実に守りながら、日本人に合ったバランスを考え、ここでも味わえない本物のハム・ソーセージを提供している。

この味をもっと多くの方に味わってほしいと始めたホットドッグが人気。ソーセージはブレイン、チーズ、チヨリソーの3種類。シンプルなブレインは絹挽きのブリッとした食感が楽しめる。店内のカウンター席でスタッフに美味しい食べ方を教えてもらったり、晴れた日には開放的なテラス席でのんびりするのもおススメ。遠方の方のためには、商品をお取り寄せできるのも嬉しいポイント。ホームページ・ジ・フェイスブック・インスタグラムのSNSで情報発信しているので、事前に確認してお問い合わせいただきたい。



ゆでただけで、そのまま食べても美味しくした味を楽しめる。ゆでる、焼く、それぞれの調理法に合った専用のソーセージを揃える。



手土産やお中元に喜ばれるギフトセットも多数ラインナップ。農夫のおすすめセット ¥3,400、農場セット ¥3,300、オーナーおまかせセット ¥3,300より(全て税込)



オーナーの大石さん。商品も大切だが、お客さんとのやりとりを何より大事にしている。おいしい食べ方や料理なども優しく教えてくれる。



ショーケースには金賞受賞のソーセージも並ぶ。スライスして食べるものは、見た目のバランスにも気を配る。

遠州の銘品

ヤマハ株式会社
1976年発表

ヤマハSG-1000



1974年にヤマハソリッドギターの礎を築いたSG-175が発表され、数々の改良を加えられながら、1976年にはカルロス・サンタナと共にSG-2000を開発。「サステインを最大に」というサンタナの要望に応えるために、Tクロスメーブルトップ、スルーネック構造、プラス・サステイン・ブロック等のユニークな機能が搭載され、オリジナリティ溢れる仕様に仕上がった。さらにその後、伝統的なロック系サウンドを求める多くのプレイヤーの声に応えるべく、SG-1000を発表。セットネック構造を採用し、ブライトでパンチのあるサウンドを追求した。その素晴らしいサウンドと抜群の演奏性、そして美しいデザインを持ち合わせたギターとして、SGシリーズは発売当初から今日に至るまで長年の間、プレイヤーを魅了し続けている。

■撮影協力: DOVE SYSTEM 和田隆二氏所蔵
■参考文献: (株)ヤマハ ホームページより

ヤマハ株式会社

浜松市中区中沢町10番1号
<https://jp.yamaha.com/>



【SUP・カヤック】石田徹/カйнаニバルスポーツ
カヤック歴15年、SUP歴は7年以上。過去にはアベンチャーレースの経験も。
アウトドアショップで働いた後、沼津や伊豆、芦ノ湖をフィールドにカヤック&
SUPのスクール、ツアーガイドを行う。アウトドアを通じ、地元・沼津の魅力発信
にも貢献。https://kainani.jp/

オグシヨートランパーク2019開幕
熱中人が集う、
遊びの大博覧会!!

遊びに熱中することで
自分の世界が広がっていく

け回る橋本景さん。「僕の場合は磯や岬などでの釣りが多いから、自分が自然の中にいると強く感じます。地形や変化する天候を読み、野生の勘を頼りに魚と駆け引きする釣りをする人間の狩猟本能を呼び覚ましてくれます。釣りが自然

熱中人の言葉や行動から
人生の意味に思いを馳せる

遊びに出会えるのもトランポパークの魅力と言える。

A close-up shot of a white Honda motorcycle. The bike features a large, round headlight, orange turn signals, and a black seat. The word 'PIRA' is visible on the front fender and side panels. The background is slightly blurred, showing other vehicles and people.

【ドッグアジリティ】田辺克之
コース上に置かれたハードルやトンネル、シーソーなどの障害物を規定に沿ってクリアし、タイムを競う。犬と一緒に並走しても、遠くから指示を出してもOKなので、性別や年齢を超えて、幅広い人が楽しめるのも人気の理由。2015年イタリア世界大会日本代表。





外遊びの楽しさを、
たくさんの人に伝えたい。

石田 徹

若い頃はクライミングやトレッキング、キャンプなど、さまざまなアウトドアアクティビティを経験し、前職ではカヤックのインストラクターを10年させてもらいました。自分が感じた外遊びの楽しさを子どもから大人まで多くの人に伝えたく、この仕事を始めました。カヤックとSUPを通じて、沼津の活性化にも貢献したいですね。



犬と人間が
共存できる社会にしたい。

田辺克之

この競技は自分がするのではなく犬がするので、思うようにいかないことも多々あります。ただ練習するだけではダメで、ほめたり、叱ったり、まるで子育てのようですね(笑)。海外の大会などに遠征すると、人と犬が共存して生活しているのを見かけることがあります。日本でそんな社会が実現できたら素敵ですね。



動けなくなったカブを直す。
ただそれだけなのに夢中になる。

高橋英樹

お金をかけず、なるべく安く直したい。パーツが手に入らないとか、微調整したいときは自分で加工することもあります。もう性分ですね。カブのレースにも参加していて、スピードアップするため加工機を操り、レース用のリアギアを製作しました。カウルに穴を開けちゃうのは、俺が70年代のヨシムラ・モリワキの世代だからかも(笑)



遊びも、仕事も両立できるのが
トランスポーター。

上林 健

最高のサーフスポットで波に乗りたいたから、現地の仕事を受注してトランポで移動。仕事を終えたら思う存分サーフを楽しんでいます。軽トラで移動することはできません。遠方や車の中で仕事をするのは難しいです。遊ぶために仕事をしていると言うと大げさだけど、どちらも真剣に楽しむためにトランポは欠かせない道具ですね。



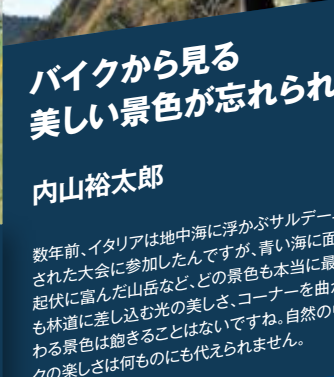
遊び続けよう。



人生を楽しむ
ツールとしての「釣り」

橋本 景

地形や天候、狙った魚の習性などを読み取り、自分の経験やスキル、道具の性能も計算して、緊張感ある真剣勝負をする。それが釣りの面白さの原点だと思っています。さらに、人として、自然と対峙する中で過ごす非日常感や、自然と対峙することで感じる地球環境の変化など、釣りが持つ奥深さを知ってもらえたらうれしいですね。



バイクから見る
美しい景色が忘れられない。

内山裕太郎

数年前、イタリアは地中海に浮かぶサルデーニャ島で開催された大会に参加したんですが、青い海に面した街並み、起伏に富んだ山岳など、どの景色も本当に最高で、日本で林道に差し込む光の美しさ、コーナーを曲がるたびに変わる景色は飽きることはないですね。自然の中を走るバイクの楽しさは何ものにも代えられません。



点数がつき、勝ち負けが
はっきりしている競技は面白い。

大塚正樹

エアソフトガンのシューティングは、友だちに誘われたのがきっかけ。サバイバルゲームとちがって個人競技だから、練習するたびに上達していくのが楽しかったですね。銃と銃と練習するたびに上達していくのが楽しかったですね。銃と銃と練習するたびに上達していくのが楽しかったですね。銃と銃と練習するたびに上達していくのが楽しかったですね。

目指すのは、冬のオリンピックの
正式種目になること。

岩堀翔太

スノーボードのように足を固定して、体重移動で方向転換するのは同じですが、ハンドルボールを設けたことで、よりダイレクトな操作感と、雪面を駆けるような疾走感を体験することが出来ます。日本初のウィンターギアで、まだ競技人口が少ないから、今から始めればトップ選手として活躍できるかもしれませんよ(笑)



遊びの世界は
広く、深い。

小栗伸幸

例えばバイクではなくSUP。今、自分がはまっている遊びとはちがう遊びを選んでいたなら、どんな世界が待っていたか考えるとワクワクする。トランポパークは新しい遊びに、かと思えば一流のプロから学べる場。確かに外で遊ぶ暑いし、ケガをすることもある。でも、夢中になって遊ぶことで、か手に入れられないものを見つけて欲しいな。



【モトクロス】小栗伸幸/株式会社オグショー
トランスポーター専門店「オグショー」代表取締役社長。高校時代からモトクロスバイクにはまり、80年代後半には国際A級モトクロスライダーとして活躍。引退後も、ラリーモンゴリアに出場するなど精力的に活動中。
<https://www.ogushow.co.jp/>



人生に生きがいを求めるなら
一歩踏み出すことが大事

最後にトランポパークを開催した理由を小栗社長に伺った。「バイクやカヤックなど、1つの世界にとどまらずにいろいろな世界に、新しい遊びの場を提供したかったんです。バイクが趣味だけど、SUPをしたら面白くてはまってしまった。そんな風に遊びの世界がグンと広がってくれたらうれしいですね。10年後のオグショーは今よりも遊びに精通して、場所を選ばずどこでも仕事ができますよ」と子どもたちのように笑う。遊びの乗り物だけでなく、働き方という面でもトランポが活躍する日が来るのもそう遠くない気がする。

遊びや趣味だけでない
働き方にも便利なトランポ



いて、さまざまなジャンルの遊びの問合せに対応できる会社になつてほしいですね」

先に登場した熱中人たちが言うには「オグショーは遊びを応援してくれる会社。個人の用途に応じてフルオーダーでDIYしてくれるトランポ屋は、オグショーしかないとのこと。」「うちが効率化を求めたら終わりでしょうね。僕たちは遊びが好きだし、とても大切にしている。だから遊びに夢中になっているお客さまを応援したくて、オンラインのトランポをずっと作り続けてきました。トランポパークはトップアスリートを講師として招き、多ジャンルを一度に遊ぶことができるとても贅沢な場。インターネットや本だけでは分からない、リアルな感覚を感じて欲しい。一歩踏み出して、遊びの世界の素晴らしさをぜひ体感してください。」



KATANA MEETING



最新情報はKATANAスペシャルサイト <http://www1.suzuki.co.jp/motor/katana-sp/index.html>

全国のサムライたちよ、
いざ浜松へ！
KATANAミーティング
2019開催。

新型KATANAの誕生を記念して、9月15日（日）はまつフルツパーク時之栖内特設会場にて「KATANAミーティング2019」が開催される。天竜浜名湖鉄道ではKATANAラッピング列車が運行され、当日は天竜二俣駅で出発式を実施。「フルツパーク駅」は、イベント当日限定で「KATANA駅」となる演出も用意される。KATANAファンはもちろん、スズキファンなら誰でも入場可能。ぜひご参加ください。

KATANAミーティング2019
日時 2019年9月15日（日）
10:30～14:00（予定）
※雨天決行・荒天中止
場所 はまつフルツパーク
時之栖（ときのみか）内特設会場
浜松市北区都田町4263-1
入場料 無料
主催 株式会社スズキ二輪

PRESENT

タイラレーシング様より



1名様

平忠彦氏直筆サイン入り
ボディバッグ



10名様

タイラレーシング
オリジナルステッカーセット

（株）デイトナ様より



1名様

HenlyBegins
ホルスターバッグ ターボリン/レッド

- 応募方法 希望の商品名と下記内容を明記し、ハガキまたはEメールにてご応募ください。
①住所②氏名③性別④年齢⑤職業⑥電話番号⑦メールアドレス
⑧希望する商品名（1点に限る）
- 応募先 ハガキの場合 〒430-0928 静岡県浜松市中区板屋町101-22小川ビル3F-5
（有）キーウエストクリエイティブ内 エンシュージャスト編集部
メールの場合 info@key-w.com エンシュージャスト編集部
- 応募バ切 2019年11月26日必着（ハガキ・メールとも）
なお、当選者の発表は商品の発送をもって代えさせていただきます。

本紙掲載のタイラレーシング&
（株）デイトナからステキなプレゼント！
インタビに因えてくれた平忠彦氏からは、なんと直筆サイン入りボディバッグ、ステッカーセット、創業者ヘンリー・アベ氏の熱い思いを受け継ぐ（株）デイトナからは、ツーリングに便利なホルスターバッグをご提供いただきました。どちらのアイテムもライダーなら必見。ふるってご応募ください。エンシュージャストへのご意見もお待ちしております！

GRAPHIC, EDITORIAL & WEB DESIGN

カタログ、チラシ、ポスターなどの印刷物から、ホームページの制作までデザインのご用命はエンシュージャストを運営、編集する（有）キーウエストクリエイティブまでどうぞ。
TEL. 053-450-0222 mail. texas@key-w.com 担当窓口：大沼まで

（有）キーウエストクリエイティブでは一緒に仕事できる営業、ライター、デザイナーを募集中です。年齢、性別は問いませんが経験者は優遇します。
本音を言えば、ある程度メカに強くて、楽器ができて、バイクが好きで、おしゃれが好きで、甘いものが好きで、浜松街なかの事務所まで自転車通勤できる人なら最高です。
興味のある方は info@key-w.com（担当：山川）までお気軽にお問い合わせください。
まずはお互いの仕事に対する考え方を話し合しましょう。

KEYWEST
CREATIVE
Ltd.

EVENT REPORT



ユニル・オパール公式サイト <http://www.unilopal.jp/>



個性的なクルマが浜名湖に大集合。
ユニル・オパール5周年ミーティング。
7月21日（日）フランス発の自動車オイル、ユニル・オパールの日本上陸5周年を記念したミーティングが浜名湖競艇対岸駐車場で開催された。ルノー・シトロエン・ジョー（仏）をはじめ、フィアット・ランチャ（伊）、ボルシェー（独）、ミニ（英）など、輸入国産を問わず、1000台以上の個性的なクルマが集まった。中には正規輸入されていない希少車もあり、和気あいあいとした雰囲気の中心、オーナーたちが情報交換や愛車談義に花を咲かせた。
バイクユーザーへの朗報は、2輪向けオイルが新たに登場。試験的な導入だが、空冷旧車用オイルのほか、2ストオイルもラインナップ。今後はバイクユーザーもユニル・オパールから目が離せない。

NEW OPEN



HYOD PLUS Hamamatsu www.hyod-products.com/plus/

東区市野にヒョウドウプロダクツの
新フラッグシップストアが誕生！

2018年秋、浜松市東区市野町にセレクトストア「HYOD・PLUS Hamamatsu」が誕生。洗練された店内では、ヒョウドウプロダクツのオリジナルを中心に、ヘルメット・タイヤ・ケミカル類まで豊富にラインナップ。新展開のROMAN BLACKは上質なレザーを使用した大人のライディングウェア。一歩先を行くライダーなら、要注目だ。

AUTORACE



感を感じに
浜松オート
レース場へ
行こう！

サンケイスポーツ杯 GI第61回 秋のスピード王決定戦
9月12日（木）～16日（月・祝）
浜松オート <http://www.hamamatsu-auto.jp/>

LIVE



ジュンスカの愛称で知られ、80年代後半にホコ天やJ ROCKブームの先駆けとなるなど、時代をリードしてきたUN SKY WALKER（S）。デビュー30周年を経て、ギターの森純太がレスポール本での弾き語りツアーを開催。ファンは絶対に見逃せないスペシャルなライブになるのは間違いない！

10月12日（土）
MORI JUNTA lespaulで弾き語り bonus tracks 2019 Autumn
会場／窓枠2階カフェAOZORA 開場／18:00 開演／18:30
出演／森純太 前売／4,500円（ドリンク代別途500円）

SALE



欲しかった商品をお得にゲット！
ナップス浜松店、秋のまとめ買いセール

ナップス浜松店
<https://www.naps-jp.com/shop/10037>



WITH YOUR DREAM.

ライダーの夢とともに。

国内4メーカーから輸入車まで、浜松随一のラインナップ。

見て、比べて、乗って、川島モータースは、あなたのバイクライフを全力でサポートします。



取扱メーカー

HONDA YAMAHA SUZUKI Kawasaki KTM aprilia MOTO GUZZI Vespa



城北本店

〒432-8011 浜松市中区城北1-10-8

TEL.053-471-2543 FAX.053-471-8600

営業時間：ショールーム9:30~19:00、サービス工場9:30~18:00

休業日：木曜日



元浜店

〒430-0942 浜松市中区元浜町76-5

TEL.053-478-0877 FAX.053-478-0878

営業時間：ショールーム9:00~19:00、サービス工場9:00~18:00

休業日：水曜日



カワサキ プラザ浜松

〒432-8061 浜松市西区入野町10001

TEL.053-415-1177 FAX.053-415-1178

営業時間：10:00~19:00

休業日：水曜日、第2木曜日



城北本店は2018年より
「ヤマハアドバンステイラー」認定店です。



「パツと見キレイ」仕様となりました★



Before

これまで4回に渡って、エンジン・アストのFace bookページでお伝えしてきた「Dトラッカー再生記」。「レビビカに再生完了！」とまではいきませんが、なんとか通勤の足として、毎日乗れるようになりました。

交換必要なパーツを洗い出したら、ヤフオクとかで入手するにしても、結構な金額になっちゃうなあ...と、途方に暮れているところに、格安で部品取り車両含め、シートやパーツを提供してくれた、鳥居自動車屋の鳥居さんに感謝。

ともかくエンジンがかかるようにと、キャブのオーバーホールや基本メンテをエッジさんにお願ひしたのも正解でした。久しぶりのバイクいじりで、工具も場所も無かったし、この作業を自分でしていたら、いまだに

クーラントリザーバータンク交換

DAYTONA GRIPPY GRIP

ナックルガード装着

DAYTONA COZY SEAT

ミニミラー

バッテリー交換

DAYTONA COZY SEAT

ナックルガード装着

DAYTONA GRIPPY GRIP

ミニミラー

リアホイール&タイヤ交換

スプークスキン

キャブレターオーバーホール

エアクリナーエレメント交換

ダウンタイプフロントフェンダーに交換

スプークスキン

リアサス交換

オイルおよびオイルフィルター交換

スプークスキン

キャブレターオーバーホール

スプークスキン

リアサス交換

オイルおよびオイルフィルター交換

スプークスキン

キャブレターオーバーホール

スプークスキン

リアサス交換

オイルおよびオイルフィルター交換

スプークスキン

キャブレターオーバーホール

スプークスキン

リアサス交換

オイルおよびオイルフィルター交換

スプークスキン

キャブレターオーバーホール

スプークスキン

リアサス交換

オイルおよびオイルフィルター交換

スプークスキン

キャブレターオーバーホール

スプークスキン

リアサス交換

オイルおよびオイルフィルター交換

スプークスキン

キャブレターオーバーホール

スプークスキン

リアサス交換

オイルおよびオイルフィルター交換

スプークスキン

キャブレターオーバーホール

スプークスキン

リアサス交換

オイルおよびオイルフィルター交換

スプークスキン

キャブレターオーバーホール

スプークスキン

リアサス交換

オイルおよびオイルフィルター交換

スプークスキン

キャブレターオーバーホール

スプークスキン

リアサス交換

オイルおよびオイルフィルター交換

スプークスキン

キャブレターオーバーホール

スプークスキン

リアサス交換

オイルおよびオイルフィルター交換

スプークスキン

キャブレターオーバーホール

スプークスキン

リアサス交換

オイルおよびオイルフィルター交換

スプークスキン

キャブレターオーバーホール

スプークスキン

リアサス交換

オイルおよびオイルフィルター交換

スプークスキン

キャブレターオーバーホール

スプークスキン

リアサス交換

オイルおよびオイルフィルター交換

スプークスキン

キャブレターオーバーホール

スプークスキン

リアサス交換

オイルおよびオイルフィルター交換

スプークスキン

キャブレターオーバーホール

スプークスキン

リアサス交換

オイルおよびオイルフィルター交換

スプークスキン

キャブレターオーバーホール

スプークスキン

リアサス交換

オイルおよびオイルフィルター交換

スプークスキン

キャブレターオーバーホール

スプークスキン

リアサス交換

オイルおよびオイルフィルター交換

スプークスキン

キャブレターオーバーホール

スプークスキン

リアサス交換

オイルおよびオイルフィルター交換

スプークスキン

キャブレターオーバーホール

スプークスキン

リアサス交換

オイルおよびオイルフィルター交換

スプークスキン

キャブレターオーバーホール

スプークスキン

リアサス交換

オイルおよびオイルフィルター交換

スプークスキン

キャブレターオーバーホール

スプークスキン

リアサス交換

オイルおよびオイルフィルター交換

スプークスキン

キャブレターオーバーホール



地元のイベントも無くなり、大好きだった正月の長良川部品交換会も

「時代の流れやマナーなどの諸問題で、少しずつイベントの火が消えていったのが、20年ほど前。

先人のイベントがあります。浜松W1クラブ主催、伝説の『天竜川部品交換会』。

ピーク時には1000を軽く超える出店、参加人数は数万人以上、間違いない日本一の規模、若い頃から大いに楽しませてもらいました。その頃は規模は違えど、全国各地で同系のイベントを楽しんでいたのですが...

「時代の流れやマナーなどの諸問題で、少しずつイベントの火が消えていったのが、20年ほど前。

先人のイベントがあります。浜松W1クラブ主催、伝説の『天竜川部品交換会』。

ピーク時には1000を軽く超える出店、参加人数は数万人以上、間違いない日本一の規模、若い頃から大いに楽しませてもらいました。その頃は規模は違えど、全国各地で同系のイベントを楽しんでいたのですが...

「時代の流れやマナーなどの諸問題で、少しずつイベントの火が消えていったのが、20年ほど前。

先人のイベントがあります。浜松W1クラブ主催、伝説の『天竜川部品交換会』。

ピーク時には1000を軽く超える出店、参加人数は数万人以上、間違いない日本一の規模、若い頃から大いに楽しませてもらいました。その頃は規模は違えど、全国各地で同系のイベントを楽しんでいたのですが...

浜名湖2&4スワップミート誕生秘話

浜名湖スワップミート実行委員 佐藤利明 (ビストロヒルマンオーナーシェフ)

一部のマナー無きヤロー達のお陰で、主催者が根を上げたのだとか...。シロツキ...。嘆きや文句をぶつぶつ言っている自分が情けなく、当時40歳だった私は「だったら自ら開催してしまおう!」次は我々の世代の番だ!と思いついた。バイク仲間の「Huge小泉」「TICKLE斎藤」の2人に即電話。共に二つ返事でOKをもらい、スタートさせたのが始まり。現在は、私をはじめ4人の実行委員と40名以上のボランティアスタッフに支えられながら開催させていただいています。コンセプトは「モーターミュージックシティ浜名湖」。



おや さい い)ボ をつ 少し 可能 日撮 てハ オマ そう え、ま だも か。ギ 持ち あな そう 人撮 こつ 撮れ 方、々

樽林の日常写飯 ~ISOは大体800~ Vol.3

お疲れ様です。いつも大変お世話になっております。

さて、これまで「毎日（というほどでもない）（ポトリート）」の撮影前／撮影中の部分をつらつらと説明して参りましたが、今回は少し前段階のお話を。

可能な限りその日に出会った人を一人、毎日撮り倒している。と聞くと、目を血走らせてハハハ言いながら「シャッ…写真…オレ…オマエ…撮る…」と節操もなくにじり寄ってくるようなイメージが湧きますでしよう？…ええ、まあほとんどそうなんですけれども。

でもそんな結構ギリギリじゃあないですか。ギリギリ気持ち悪いじゃあないですか。そうなんです。つちが「この人撮りたいな…」と恋い焦がれても、出会いはお願いの仕方、タイミング



ということに辿り着きました。後、作品は人目に触れてナン、ちな僕は可能限りSNSにのたいてるんですが、そこまでのシヨウとして体感してもらってもえそうだし、なにより楽なんじゃないかと。そしてですが、撮ったものを絶対悪用しない、心感も伝えねばなりません。うともはやカメラは相棒ないう位置付けであり、ポート身の人間性で撮るものなのだけ。ユーモアと誠実さ。僕にはまだまだ足りていないの、でブックオフとかに売ってたら買いたくいらなんでしょう、とにかくこのふたつさえ備えていればあなたもいくらでもポートレートを撮れるようになりましょー！「無理かも」という方は「ユーモアと誠実」と描いたTシャツを着る、といかもしませんね！

樽林の日常写飯 ～ISOは大体800～ Vol.3

カメラは相棒ながらあくまでアイテム。
ポートレートは人間性で撮るのだと思いました。



樽林 武俊

くればやしたけとし・フォトグラファー
1980年生まれ。実家は父の代からの町の写真屋さんで、幼少の頃からカメラを玩具代わりに育つ。お仕事とは別にライフワークとして『毎日（というほどでもない）ポートレート』を撮り続けている。

が悪かったら撮らせてはもうええんです。ある意味この入りが一番重要かもしれません。これまで6年撮り続けてきて、断られたのは2度ございました。理由は僕の口が悪いとか、うさん臭いとかどことなく臭いというわけではなく「恥ずかしいから」という理由でした。撮られるのもSNSに載るのも。博林も本当に優しい子ですので「あ、じゃあ無理には良いよ」なんつって理解力のある好青年を演れたわけですが、その夜は撮れなかった悔みで眠れませんでした。7〜8時間寝るのがやっとでした。

とにかくカメラマンですから撮らなければたぎの汗かきのおじさんなわけです。なので「撮りたい人を撮らせてもらうには」という事を考えた時に、そうか、この撮影自体

乗り物と素材の話 Vol.3

枯れた技術



山本 雄一郎

やまもとゆういちろう・1985年生まれ・大手発動機メーカー勤務後、老舗自転車店にて修行。その後独立し、現在は自転車店「Green Cog」店主。

途方も無いコストがかかりますが、ハンドメイドが容易なクロムリ素材はそれと比べて低コストでオーダーメイドが可能です。

旅通動 買物など、タスクが求められる用途には無類の強さを発揮します。また、溶接ができるのであれば修理も可能なので、旅人にも喜ばれているのです。そして、何よりオーダーメイドに適しているので、先に述べた所有欲もバッチリ満たしてくれます。

造り手のこだわりがそのままカタチになった乗り物は、量産品にはない「嗜好品」としての魅力と、造り手の情熱に溢れています。乗り物として、乗る人、産み出す人、それぞれの人生を日々、乗せいくなだなく、思うわけです。



乗り物は量産する事で比較的安全に手に入れられるようになりました。あんなに複雑な構造を持つクルマやオートバイが、あの価格で手に入れられるのは、量産効果のおかげです。そんな中、エンジンな方々は量産品よりもっと高い趣味性を求めて、市販車をカスタマイズしたり、オーダーメイドで造っていたりします。

もちろん高額にはなりますが「自分のための乗り物」は、所有



口の自転車ロードレースの世界では創刊号でお話した「カポネ」素材」が主流ですが、ほんの四半世紀前までは、そこでもタングクロモリが主流だったのです。

そんな変遷を経て、クロモリは自転車の世界から絶滅したのかと思いきや、実はまだまだ使われています。むしろ、カポネにはない堅牢性や「枯れた技術からくる信頼性、ハンドメイドが比較的容易なため」一部の自転車愛好家にはかげがえのないものになっているのです。自転車は使い方やスタイルに応じ

Good Day sunshiners

人生日々大喜利 Vol.3

個性的で愛すべきお客様たち。



庄司 哲也

しょうじてつや・コンビニ店長・1973年生まれ・いつも自転車屋さんにいてあだ名がテンチョーなので自転車屋の店長と思われる事が多いが、正確には「自転車屋さんに入り浸っているコンビニの店長」。ポリシーはそこそこ仕事してもりもり遊ぶ。

も丁度いい塩梅に角から顔を出してフードの様に羽織つています」「ミ袋を身に纏ったJK……
いやはい、いいものを見せて頂きました。
お次のお客さんは近所の空き地に住んでいら
れるホームレスのお爺さん。自分が街中でゴミ
二を始めた頃から住んでいるので、少なくとも15
年以上のベテランです。話が聞き取らなくともた
り色々とアレで接客にもコツがいるので、お店に
緊張感が漂います。ふらふらーとお店の奥から
ソフトドリンクを持ってレジに来るので、お売りし
ようとしたらまさかのゼロカカローラー！な
ぜ？タイフン中なのか？むしろ栄養として下さ
い(苦笑。その前にどうやって収入を得ているの
か？)が、一番の疑問です。

も丁度いい塩梅に角から顔を出してフードの様に羽織っています！ゴミ袋を身に纏ったJK……いやはいいいものを見せて頂きました。

か？？？が一番の疑問です。

最後はお客さんではなくウチのスーパーキー。小腹が空いたので自分のお店で買い物をしてレジに並んだ時です。「ロケット1つnanacoでお願ひします。」と注文すると「665円になります」と新人君(1ヶ月)。「665円?」となりましたがどうやら彼は「ロケット7個お願ひします。」と解釈したようです。そんなに食べれる訳ないだろうとか、1と7と言ったんだろうとかツツミにはありますが、その前に今売り場に「ロケット7個ないだろ!」(涙)

前回に続き今回もフトなネタを披露させていたしましたがハドナの方が聞きたい方はGSビルで。そして相変わらず人手不足なので引き続き従業員募集しております。



最近思った事、ずっと思ってる事。 Vol.3

とっても昭和な150号パラダイスグルメ。



芳松 鎮

よしまつおさむ・1973年製・2016年12月、
超思い切って脱サラし浜松市南区にGSバー
ガーを開業。金のかかる趣味ばかりで、結婚
してからは仙人のような生活をしております。

元号が令和に変わり、昭和生まれの自分は本当に古い人間のような感じがしてきた今日この頃……しかし、自分は昭和くらいのビンテージ感が大好きです。来店していただけたとお分かりになるかと思いますが、当店が入っているGSビルでも、昭和40年代の建物で、かなりイイ味を出しておられます。ぜひ一度遊びにいらして下さいませ。

さて宣伝はのくらしいにしておいて、最近自分がマッている休日の過ごし方があります。国道150号線沿い、特に磐田市・御前崎市付近に点在してる、「昭和和」が残った飲食店を探検しに行くことです。自分は150号パラダイスグルメと呼んでいます。

本当に不思議なのですが、このエリアには、タイムマシンのように昭和が残っている食堂がいくつも点在しております。なぜこんなにも昭和が残っているのか？いろいろな条件が複雑に絡んでいるとは思いますが、これは昭和好きフリークにはミタレものです。

先日も掛川付近にある、「ぎゅっちゃんじゃぱん」に行ってみました。二番の目的は、メニューを見るものとものすごく違和感を感じる「目玉焼定食750円」…。



「きっちんじゃぱん」外觀



これが「目玉焼き定食」だ！

焼うどん定食 750円、そして目玉焼定食 750円。次に書いてあるのは「フカライライス 700円です。どうですか?」どんな目玉焼定食の結果は想定内の中のと真ん中です。こちらのお店「ご飯の大盛り」をおかわりが無料という太っ腹なお店なんです。が、目玉焼きじゃご飯の杯食べられない(泣)。

しかしこちらのメニュー、「風邪引いたら卵食べな」みたしな、昭和のまだ卵が高価だった頃「うつすげー」この店の目玉焼き、卵2個も使っている「みたしな昭和の生き残りメニューなんやな」いか?が、勝手に想像しながら感慨深々、完食しました。

次にハシゴをしたのは、そこから数百メートル先にあるビネージな釣り具屋の隣にある太白星というラーメン屋なん。こもものすくく昭和なお店ですが、そろそろスペースがなくなつてまいりましたので、ぜひ自分の足で体験してみてください。

行く時は昭和をリスペクトして、ケミカルウォッシュのデニムオシデニムでハンティングワールドの時計でも付けて、ビシッと行きましょう！

A plate of fried egg with vegetables and a small bowl of dipping sauce. The plate contains a fried egg, a slice of tomato, and some green vegetables. The small bowl contains a dipping sauce with a yellowish-orange color.



今回の鈴鹿8耐、EDGEスタッフの五十嵐が、犬木選手所属のH.L.O RACING SUZUKINメカニックとして参戦。真剣勝負の現場で、今後につながる貴重な経験を積んだ。
店長土方は、この夏よりモーサイにて隔週コラムを連載予定! <https://mc-web.jp>



土方大助

ひじかただすけ●南区御本町のバイク店モトサービスエッジで店長を務める。筑波デイストオブフリーランス・ゼロワンクラスでの優勝や、メカニックとして全日本や8耐にも関わる。2輪雑誌での試乗経験は数百台、ライディング・メカニズムの両方に精通する。最近のストレス解消法は仕事帰りの水泳だとか。



モトサービスEDGE

浜松市南区御本町82 TEL 053-424-8566
www.ms-edge.jp

意外と小さなことでライダーは不幸にも、幸せにもなれる。

結果は皆さんの知るところである今年の鈴鹿8耐。今年の初め、浜松に住む国際ライダーの犬木くんより、参戦するという話があった。彼はモトサービスエッジのガレージ会員で、個人的にも長い付き合いがあり、微力ながら協力することとした。でいろいろあったが、その話は別の何かの機会にしよう。

こと耐久レースという、2〜3名のライダーが1台のバイクに乗る。それゆえバイクのセッティングに対して、それぞれのライダーの好みや、チームに明暗として降りかかる。

同じバイクに乗り、チームも拮抗しているライダーを組み合わせたチーム。なのに、どちらかに合わせたバイクに別のライダーが乗ると、1秒、2秒、簡単に差が出たりする。レースで秒単位の差は、勝敗の決着が付く、ある意味絶望的な差だ。これは全くもって、当たり前の話だと思っただろう。

でも、ここで視点を変えてみよう。鈴鹿サーキットで1秒のラップタイムの差とはどんなモノだろう。平均速度で比較すると、常時1キロ/hくらいの差なのだ。これは「ゆつくりと歩くよりも遅い。コースの全てで、ゆつくり歩くスピードを上乗せしてやれば、鈴鹿サーキットでは、1秒どころか2秒もタイムが縮まる可能性がある。

こう考えると、相棒に合わせたセッティングの違いを我慢し、なんとか折り合いを付けられ、詰められないタイムではないかもしれない。なんか希望が出てこないか…。

頑張っているのにタイムが伸びず悩んでいるライダーには、ちょっとしたヒントになる話で、その昔、自分にも同じような話をしてくれた人がいた(筑波だったけど)。スムーズに走るとか、リズムよく走ると言われていることが

これにつながるだろう。

でも、このちょっとした違いがレースの勝敗を分けているのも事実。常に1キロ/hの速度差は1時間後には距離1kmの差になる。だから、チームはベストを探り、ライダー達は妥協したり、相手のセッティングにマッチする走りをする、と挑んでいく。簡単じゃないが。

なぜ、こんな話をしたかというと、意外と小さなことで、ライダーは不幸にも、幸せにもなれると思っただけ。

ストリートでも、自分のバイクに何かしらの不満や違和感を覚えている人は少なくはない。パーツを交換したり、カスタマイズしたりというのは、問題を自分なりに打開していく手段のひとつだ。それでうまくいけば幸せというのだ。

だが、自分のバイクに抱えている不満や違和感は本当に正しいのか、と思っただけではないだろうか。バイクメーカーは、それぞれ用途に応じて、それなりのバランス感を持って市場に出している。完成度も高い!

誤解を恐れずというと、その不満や違和感の原因はライダーにあるのかもしれない。つまりはライディングスキルである。これがあつまる程度ないことには、バイクを走らせていて楽しい部分が薄れてしまう。これを解消するにはやはり練習しかない。ある程度スポーティな課題を経験し、バイクをコントロールする技術を身につけることだ。そうすることで余裕が生まれ、バイクを扱う楽しさの幅も広がる。ライディングスキルが上がれば、バイクの異常などを感じる感覚も研ぎ澄まされる。故障や異常も早い段階で気づけるだろう。日常的な部分ではタイヤの空気圧の低下は、走らずとも取り回しの段階で違和感を覚え

るはずだ。そのようなスキルは中古車を購入するときに役に立つ。

先日のことだ。タイヤ交換で来店した600スーパーバイクのお客様から、同時にリアサスの相談を受けた。着座位置が低く、足の収まりも悪いと言う。車両を見るとシート形状が明らかにスタンダードではない。お客様の同程度の身長172cmの私が跨った感想は「怒らないでね、極端にいうと洋便器にお尻がマツた子供状態、ステップを踏んでもスツとは動けない」である。車体を色々とチェックすると、足付き優先でサスのインシャルもかなり抜かれていた。聞けばこの車両、中古車として購入時からそのままであると言う。前のオーナーとしては、必然のカスタムだったかもしれない。だが、今のオーナーには普通ではなかった。そんな状態でもバイクは走れてしまっただが、乗り手は、なんか気持ち悪い感じがしていたのだ。結局、スタンダードのシートに戻し、サスのセッティングも標準に合わせることとなった。

だが、スタンダードとて、決して最良ではない。実は手元にあるGSXR1000のシートは、ある程度スポーティに走るときの体重移動とホールド感を意識したモノへと手を加えている。おおむね周囲には好評だが…。

ときに自分でも「これでもいいのか」と思うこともある。

ぜひ同じような悩みをかかえていたら、いつでも相談に来てください。わたくし土方が、ズバツと解決します。

ちなみに冒頭の8耐マシ、シート単体でシート高を何度か見直すこととなるのですが、最後は鈴鹿へ出発する前夜でした。トホホ…。



ヘミングウェイも愛したモヒートの名店「ボデギータ」。観光客が多すぎて店内に入らず、ホテルのバーにて。

憧れは邂逅を求める魂の流離なのだ。

初めて来た国のはずなのに、頭の中にはこの国の記憶がすでに存在していた。それを知ったのは止まった時間に音楽を感じた時だった。

chapter3 わかばのお守り

行きつけのカフェのマスターが旅行前にいつもの笑顔で「これ、お守りだから持って行って」と、残り半分もないわかばをくれた。お守りで吸いかけの煙草をくれる人などなかなかいないが、自分はこのマスターのそういうセンスが大好きだ。

せっかくいただいた残り5本の煙草をどこで吸うか、旅行前に自分なりに考えてみた。まずハバナに無事に到着したら1本、とびきりのキューバカクテルを飲んだ時に残りを吸おうと考えた。

空港から降り立ちタクシー乗り場にいったら灰皿があったので、早速到着を祝してわかばを吸ってみた。いつも吸っている銘柄よりニコチン、タールともきつい。

多少ふらふらしながらも、なんとも言えない南国の湿気さえも楽しんでいると、知らない男が近づいてきてジェスチャーで「煙草をくれ」と言ってきた。到着して間もなく開放感でいっぱいだったので、その男に残り少ないわかばを1本あげた。その男は煙草を受け取るとお礼をいうわけでもなくどこかへ行ってしまった。(後でわかるのだが、この国の人間はやたら煙草をくれと言ってくるので、相手にしていたら自分の分がなくなってしまう)

ホテルに到着してチェックインを済ますと、横にバーが併設されていることに気がついた。せっかくなので、荷物を部屋に置いて飲みに行ってみた。

やはりキューバにきたらモヒートと決めていたので早速オーダーしてみる。値段の表示もなく、いくらかわからないが、そんなことは気にしない。出てきたモヒートは、今まで日本で飲んだことのあるものとミント、砂糖、ラムの量が驚くほど違った。こんなに砂糖とラムを入れてあるのにスッキリしていて飲みやすい。

ここでわかばに火をつけて吸ってみる。憧れのハバナで飲むモヒートと、お守りでもらったわかばの組み合わせ。ミスマッチなようで妙にぴったりくるこの組み合わせを、マスターは予言していたのではないかと思いが、至福のひと時を楽しんだ。



平松拓也(文) 舞(写真)

荷物を満載したトヨタ・デリボーイで行く車中泊旅行をこよなく愛するしがないサラリーマンの旦那とカメラマンの嫁。
旅のモットーは「行き当たりばったり」。



今回の写真のイメージ曲

岡崎友紀 ダンシング・レディ (1978年)

「おくさまは18歳」で有名な岡崎友紀22枚目のシングル。岡崎友紀作詞・鈴木邦彦作曲・杉本喜代志編曲の極上ラテン歌謡ナンバー。ラテンピアノの調べがとてもハッピー。

EnshuSiaSt Friendly Shops

The EnshuSiaSt Magazineは記載のショップにて配布しています。

浜松市中区

印度カレー mana	053-458-1773
オフィスヒット	053-489-3470
CUSTOM FEVER	053-455-6755
自家焙煎珈琲店 鴨江珈琲	053-571-2759
川島モーターズ本店	053-471-2543
川島モーターズ元浜店	053-478-0877
ヘアアートリエ・キートス	0120-416-429
くれいじーママ	053-473-7955
カフェレストランざぼん	053-441-9820
Sonix	053-476-6688
タイラレーシング	053-437-2125
TSUBAKI AUDIO	053-471-8181
HighMeal	053-525-9552
Piste HAIR DESIGN	053-489-3336
ピストロ・ヒルマン	
PLATERO	053-456-2957
古橋商会	053-453-5985
PRECIOUS JUNK	053-455-5625
ホンダドリーム浜松	053-412-6330
POPS倶楽部	053-525-7383
MUMBLES	053-420-0728
Live House浜松窓枠	053-451-3035
ROBANOMIMI	053-471-0022
YSP浜松	053-465-4545
ヤマハミュージックリテイリング浜松店	
	053-454-4111

浜松市東区

art tool / アートツール	053-422-7765
アニー コーヒー	053-581-9777
アビーロード	053-467-0533
オグショー	053-421-0122
オートプラザドリーム	053-411-0819
音楽天国 浜松市野店	053-462-1059
SWEN浜松店	053-411-5133
スズキワールド浜松	053-464-8198
Tickle	053-467-0160
トライアンフ浜松	053-422-6711
南海部品浜松店	053-463-0111
ハーレーダビッドソン浜松	053-466-3210
b SPACE	053-422-2055
Huge Motorcycles	053-411-8334
HYOD PLUS浜松	053-465-8282
PePe Motorcycles	053-581-7685
遊楽民	053-571-0703

浜松市西区

カワサキ ブラザ浜松	053-415-1177
コーヒー・ブラックバード	053-486-0365
DATZ浜松	053-486-1200
福ちゃん 坪井店	053-449-5555
福ちゃん 舞阪店	053-596-3019
ライダースカフェはまなこ	053-596-3770
4xC	053-489-3113

浜松市南区

いろどり屋	053-482-9809
カマラド・ガラージュ	053-426-2830
KUSHITANI浜松本店	053-443-1819
Green Cog	053-441-4250
GS BURGER	090-8544-5356
GiL HAIR&SHAVING	053-548-6454
デリシャスキッチン	090-6023-9800
ドゥカティ浜松	053-411-8880
MotoService EDGE	053-424-8586
Rachel	053-589-5927

浜松市北区

サンマリノ	053-523-1185
太鼓屋JALI	053-523-2986
T-flow	053-526-0806
長坂養蜂場	053-524-1183
HORSESHOE-BEND	053-525-9985
WATTS	053-526-2261

浜松市天竜区

Spiral	053-925-6001
本田宗一郎ものづくり伝承館	053-477-4664
マイルストーン	053-923-1250

磐田市

カフェ レッドローズ	0538-74-1454
クロスオーディオ	0538-32-1023
ダイナオガレージ	0538-55-6655
KNOTT'S BERRY FARM	0538-35-7003
美容室 カモミール	0539-62-6077
兵藤楽器磐田店	0538-37-0354
モトガレージ ベッカク	0538-38-9094
ライダーハウスKEN	0538-66-7645

袋井市

koti by Luomu	0538-48-5522
JUNK MASTER	0538-84-7996
SWEN袋井店	0538-41-2155
兵藤楽器袋井ミュージックセンター	
	0538-42-2037
めがね工房FUJITA	0538-23-8912
RIDER'S	0538-43-6005
YSP袋井	0538-43-4646

掛川市

大石農場ハム工房	0537-48-5618
しばちゃんランチマーケット	090-2342-2725
ならこキャンプ場	0537-25-2055
Rise Burger	0537-29-6613
LEFTY BOND	0537-26-9068

菊川市

アイアンクラブト	0537-26-9900
----------	--------------

御前崎市

Cookhouse椿	0537-86-7150
コピボット (KOPIPOT)	0548-63-6620

湖西市

杉浦タイヤ商会	053-594-1728
はまなこ みんなのカフェ	053-578-3888
BONZO COFFE	053-528-7686

愛知県豊橋市

福ちゃん 大岩店	0532-43-0787
福ちゃん 二川本店	0532-41-7019

東三河地区

バイクサポートFTW	0532-88-6011
バイクショップZAPPER	0532-32-7576
FULL HOUSE	0532-35-6684

お熱いのはお好き？

クシタニさんの取材で鈴鹿サーキットへ出かけた。土砂降りの東名高速を走り、三重県に入ったころには晴れ間も見え「今日はイイ絵が撮れるかも」と思ったのもつかの間、取材途中に再び雨が落ちてきた。後から考えると「確か自分のサーキットデビューも雨の鈴鹿だったな」などと思うが、当日はそんな余裕もなく、いつになく緊張していた。ピークを迎えたのは、インタビューを一通り終え、撮影のためにピットの内側に入ったとき。スタッフの方から「ここから先はチームスタッフもビリビリしているのて」との注意を受ける。ピット内部は関係者だけが入ることを許される閉ざされた世界。ピットレーンとの行き来に通路はなく、チームが作業している脇を慎重に通過して、内側に入ることとなる。雨のレーシングコース。ピット前の狭い軒下にかろうじてスペースを見つけ、チームを撮影する。そこには10代のライダーがイヤホンで音楽を聴きながら、レース前にリラックスする姿。別の選手は椅子に座りながら、どこを見るでもなく視線を落としている。出走前、直前までマシンの様子をチェックするメカニックたち。その表情は淡々として、特別気負った感もないが、和やかな雰囲気もない。長いこと忘れていた、サーキットを走っていた頃の言葉では語れないピーンと張ったテンションが蘇ってきた。国際ロードレースでは、その何百倍の真剣さが漂っている。この現場の空気を肌で感じるために自分はここにいる気がした。時間にしてわずか1時間程度の出来事。撮影を終えてピットの外に出たとき、自分の背中がガチガチにこわばっているのを初めて感じた。



テキサス大沼

エンシュージャスト編集長。20歳でバイクの免許を取り、これまで様々なバイクを所有。現在の愛車は91年式の900SS。相変わらずオーディオ沼にどっぷり浸かり、この夏念願の真空管式のアンプを入手。ただし灯入れは涼しくなった秋になりそう…。

バイクボーイの憂鬱

90年代のはじめ、20代半ば頃に、雑誌「別冊モーターサイクリスト」で見たスモールタンクのハーレー・スポーツスターに一目惚れ、なんとか手に入れようとコツコツ貯金しながら、限定解除の試験に通うこと10回。遂に86年式、中古のXLH883に乗ることができた。あれから30年、数々のバイクを乗り継ぎ、結局今手元にあるのはあの日と同じ4速のXLH883。年式は違えど、4速のフィーリングや全身にビリビリくる振動はそのまま。小顔やナローな姿も当時と変わらないのだけど、もう30年も前のバイクなので、ところどころガタが出始めている。これはもはや旧車の域なのか。先日のごと、豊橋市街を走っていたら突然ギアがニュートラルに入らなくなった。しばらくするとローギアが、さらにセカンドにも入らなくなってしまった。さあ、どうしよう。エンジンを止めたら、いや、これは赤信号で止まることもできないぞ…。冷静に考えれば他にいい方法があったのかも知れないが、もはや頭の中は「今すぐ浜松のお世話になっているバイクショップに持ち込まねば…」と思うばかり。幸いなことに3速と4速は何と生きていたので、浜名バイパスを通過して約25kmの道を3速と4速だけを使ってノンストップで戻ってきた。フゥ…もう、そこまでやるアホな自分を褒めてやりたいくらいだ。よく言われることだけど、バイクは決して優雅な乗り物ではない。それでも乗り続けるのはやはり初めて手に入れたときの、スロットルを回したときの、どこまでも行けそうになるような、あの高揚感やドキメキが今でも身体に染みついているからなんだろうな…。



山さん山川

エンシュージャスト編集発行人。(有)キーウエスト クリエイティブ代表。モーターサイクルと音楽とデザインをこよなく愛する54歳。愛車は1989年式の4速スポーツスター。クルマはスマート・フォースー。ヘルメットは銀ラメのArthur Fulmer、たまにヒロタケアライ。

エンスーの讃歌

今春、縁があってルノー カングー(初代後期型)を手に入れた。マイカー人生23年、初のフランス車である。4ATにクセがあったり、ワイパーとウインカーのレバーが逆だったり、オイルゲージがめちゃくちゃ見難い所についていたり、今まで国産ミニバンしか乗ってこなかった自分には、びっくりする事だらけだ。しかも、この年代のカングーお決まりの故障である3速に固定されてしまう症状が早速出て、いきなりドック入りだった。と、人を楽しそうに話している自分がいる。思えば今まで会ったエンスーの人たちも同様に、手がかかる事を楽しげに話していた。2CVが雨漏りしたとか、ビートルの床が抜けたとか。はたまた、何年もドックに入りにくくても乗りたいとか。何故か楽しそうに話す。乗れないのにだ。よく「手のかかる子ほど可愛い」とか言うけれど正にそんな感じだろう。普通の人には到底理解できない事である。電気自動車が自動で走るこのご時世に燃費も悪く、安全装置も付いてない、エアコンすら付いてないしかも乗りたい時にエンジンがかかるかどうかとも怪しい。乗るのにも維持するのにも苦行でしか無く、愛車の機嫌を損ねないように手をかけ続けるエンスーたち。外から見れば、タチの悪い人に騙されているように見えるかもしれないが、本人は最高に幸せなクラブ時間を過ごしている。純愛と言っても過言では無い。そう、エンスーとは究極のロマンチスト達の愛の営みなのだ。分かる人にしか分からない世界であり、興味がある人しか知らなくてもいい世界。だんだん我が家のカングーもフランス娘に見えてきた。危ない危ない。



ドン・サハラ

エンシュージャスト デザイナー&エディター。西アフリカのジャンベとブラジルのサンバ、そして日本のサザンをライフワークにしている太鼓師。愛車はH-D XL883N、エンシュージャスト特攻隊長としてファットワークを武器に、重い体を引きつりながら西へ東へ突撃取材します。

タンデムナイト sequel

SNSでの再会から数ヶ月、帰国後のバタバタも落ち着いたらと連絡をもらって、やっとA美と会うことになった。ネットに上げられた近況でお互いの年齢の重々具合はわかってたものの、175,200時間のお互い知らない時を抱えているのだ。約束の日まで喜びと不安が交互に湧き上がり、まるで初デートの前のティーンエイジャーだと自嘲する始末だった。二人の行きつけだったお店はマスターが亡くなりもう閉店している。お店の駐車場が使えない時に彼女の車を停めていた、湖畔の公園の駐車場で待ち合わせた。時間はあの頃と同じ仕事上がりの19:00だ。ゆっくり話もしたかったので車で出かけ、時間より早めに待ち合わせ場所に着いた。タバコを一本吸う間もなく、駐車場に一台のバイクが入ってきた。パーチャカルツイン特有の小気味いい排気音。トライアンフだ。ゆっくりこちらに近づいて来る。(まさか…)。俺の車に横付けしてゴーグルを取り赤いヘルメットを脱いだのは紛れもなくA美だった。「久しぶり」。何か声をかけようとか口を半開きにしながら、唖然とする俺より先にA美が言った。「向こうで免許を取ったの」。渡米中に免許を取って向こうではハーレーに乗っていたと言う。帰国してから俺が昔乗っていた、Wに雰囲気似ているボンネル(本来なら逆の話だが)を手に入れたそう。荷台にネットで固定していた黒いヘルメットを取り出して彼女は言った。「久しぶりにタンデムしましょう。ただし今日はあなたが後ろね」。「悪くないね」。俺はヘルメットを受け取った。そう、悪くない再会だ。まだ少しだけ陽が残る西に向かって彼女はアクセルを開けた。



アジト石塚

編集部内のマルチタスパー。デザインはもちろん文章からカメラ、イラストまで担当。FRP加工から革、銀、粘土など素材を問わずアナログなモノづくりが趣味。知人から譲ってもらったオンボロKawasaki Dトラッカー250をいじるのが最近の楽しみ。

探しています。



写真は「男と女・特別号 HAMAMATSU TPO」という名の古い冊子です。裏表紙に1972年のカレンダーが掲載されているので発行されたのはおそらく昭和46年頃(?)と思われます。内容は当時の浜松のT (TIME)、P (PLACE)、O (OCCASION)を紹介するもので、昭和時代のショップやホテル、プレイスポットなどが数多く登場します。今回、巻末のコラム「喫茶ゆるはま」にも登場するコーヒーストップ「サンマリノ」さんも、ここからセレクトさせていただきました。

当編集部では、この冊子の制作に携わった方を探しております。勝手ではありますが、ぜひ当時のお話を聞かせていただき、古き良き浜松と、今の遠州地域に繋がる文化を導き出し、令和時代の「HAMAMATSU TPO」を制作できればと考えております。お心当たりのある方はぜひとも下記までご一報ください。また、エンシュージャストに対するご意見、ご要望もお待ちしております。

(有)キーウエスト クリエイティブ内
エンシュージャスト編集部
TEL : 053-450-0222 FAX : 053-450-0225
mail : info@key-w.com

<http://enshusiaast.com/>
<https://www.facebook.com/EnshusiaSt/>

エンシュージャストのホームページおよびfacebookページではこれまで掲載された内容や最新の情報を随時アップしております。読者参加企画などもありますのでぜひともブックマークをお願いします。



幸せの一杯で 福いっぱい!!

**福ちゃん
二川本店**

住所:豊橋市雲谷町川通り23-70
TEL:0532-41-7019

**福ちゃん
舞阪店**

住所:浜松市西区舞阪町浜田479
TEL:053-596-3019

**福ちゃん
大岩店**

住所:豊橋市大岩町東畑69-2
TEL:0532-43-0787

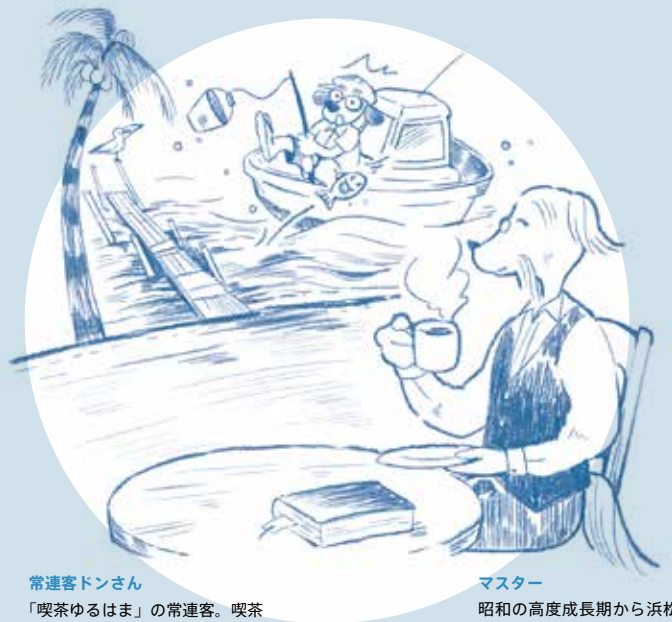
**福ちゃん
坪井店**

住所:浜松市西区坪井町4383-2
TEL:053-449-5555

※メニュー写真はイメージです。器、盛りつけは写真と異なる場合がございます。ご了承ください。 ※福ちゃんでは各店舗ごと創意工夫し、味・内容・値段等が異なります。ご理解ください。



浜松市内の一角にある、知る人ぞ知る隠れ喫茶「喫茶ゆるはま」には、昭和の時代から遠州の喫茶文化を見続けてきた名物マスターと地元を愛する常連客ドンさんが、遠州の喫茶文化について毎日雑談しています。



常連客ドンさん

「喫茶ゆるはま」の常連客。喫茶店が大好きで、遠州地域の喫茶店に足しげく通い、マスターに話を聞いてもらいにくる変わり者。

マスター

昭和の高度成長期から浜松市で「喫茶ゆるはま」を営んでいる名物マスター。遠州地域の喫茶文化に造詣が深い。寡黙だが人の話を聞くのが上手。

湖面に月光が映える 寸座のアドリア海

カランコロン:

マスター(以下マ): いらっしやい、

ドンさん。どうしたの? やけに日に焼けてるじゃない。

ドンさん(以下ド): 今日さ、知り合いの船に乗せてもらって、奥浜名湖を優雅にクルージングしてきたんだよ。

マ: それでそんなに焼けてるんだね。行った喫茶店は「サンマリノ」さんかい?

ド: さすがだねマスター、当たり前! マ: 奥浜名湖で船と言えば「サンマリノ」さんだと思ってるね。

ド: そうそう、船を専用の棧橋に横付ければ目の前がお店だからね。奥浜名湖を一望できるテラス席は最高だったよ。しかしあそこ

も長く営業してるよな。

マ: 1971年の創業のはずだからね、かれこれ48年間奥浜名湖を見守り続けてきているんだね。

ド: マスターとも少し話したんだけどさ、22才で創業して今も変わらず現役で厨房に入ってるみた

だよ。

マ: 当時は、自家用車の保有率が急速に上がった時代なんだけ

ど、広い駐車場があって、郊外にある喫茶店はまだ珍しかったんだよね。

ド: 家族で海へドライブして、「サンマリノ」で食事する人も多

かったんだろうな。

マ: 休日は家族連れが多くきて、夜は若者が集まって賑わってたみたいだね。

ド: 立地もいいところだよな。浜松と豊橋の間ぐらいで。ドライブやツーリングで寄るのに丁度いい距離だね。

マ: あと、海のお客さんも多いみたいだね。マリンスポーツも時代

によって変わるからね。ヨットが流行ったり、ウインドサー

フィンが流行ったり、今だったらウエイクボードかな。

ド: 俺が行った時も、それらしいお客さんが沢山いたな。都会の喧騒から離れてるから、のんびりリゾート気分を味わえたよ。

マ: もう解散しちゃったけど「浜松コーヒークラブ」ってのがあ

って、僕も会員だったんだけど、そこで「サンマリノ」さんのマ

スターと喋る機会があってね、お店をするのにこたわってると

ころを聞いた事があるんだよ。その時はへお客さんに気持ちの

いい空間を演出する事って

言ってたね。

ド: 気持ちのいい空間から納得。あと、俺が感動したのはナポリタ

ン。鉄板に卵が敷いてあって旨いのなんのって。いつまでも

熱々だね。

マ: 確にお皿の上に盛り付けてあるより、鉄板で出てきたらテン

ション上がるよね。それも含めて雰囲気作りとこだわりの手

作り料理も魅力の一つだよ。

ド: 創業以来ずっと通っている常

連さんもあるみたいだから、フ

ァンやリビーターが多そうだね。

マ: お店も広いからツーリング仲間

と気軽に行けるのもいいよね。

バイクブームの時は沢山ライ

ダーがお店に集まったみたいだ

よ。そういえば以前はマスター

もバイクに乗っていて、よく一

緒にツーリングに行ってたな。

ド: 俺もバイク乗りだからさ、バ

イク談義も少ししたんだけど、

HONDAのプロスに長く乗っ

てみたいだね。

マ: 「サンマリノ」さんは店名に『サ

ン』太陽』が入ってるぐらいで、

ロケーションも太陽と海のコン

トラストが素晴らしいんだけど、

月光が湖面に映る月景色も

感動ものだよ。

ド: 月景色から。店内に写真が飾

ってあったけど確かに綺麗だった。

日本じゃないみたいだったな。

まるでアドリア海に来たみたい

で映画「紅の豚」の世界に迷

込んだみたいだったよ。

マ: ドンさんは「紅の豚」じゃなく

て「茶褐色の犬」だけだね。



カフェテラス サンマリノ
浜松市北区細江町気賀 11344-1
TEL:053-523-1185
営業時間/AM11:00~PM8:00
定休日/月・火

Forging a New Street Legend

新たなストリートバイクの伝説を鍛造する。



メーカー希望小売価格(消費税8%込み) **¥1,512,000** (消費税抜き¥1,400,000)

■メーカー希望小売価格には、保険料・税金(消費税を除く)・登録などに伴う諸費用は含まれておりません。■メーカー希望小売価格は参考価格です。販売価格は各販売店が独自に定めていますので、詳しくは販売店にお問い合わせ下さい。■メーカー希望小売価格は消費税8%にもとづく価格です。●車体色は印刷のため、実物とは異なる場合があります。●仕様および装備は予告なく変更する場合があります。●掲載写真には、合成または特別に許可を得て撮影したものが含まれます。



ホームページで販売店をご確認ください。



スズキの二輪新車(競技用車種・電動アシスト自転車は除く)には、2年保証が適用されます。



スズキでは産業二輪車のリサイクルを推進しています。※リサイクルマークがついていない車両であっても、廃棄時にリサイクル料金のご負担はありません。※産業二輪取扱店に車両をお持ちの場合、収集・運搬費用が別途必要となります。詳しくは、産業二輪取扱店にお問合せください。

お問い合わせ、ご相談はお近くのスズキ販売店、または下記お客様相談室まで。
スズキ株式会社 お客様相談室 ☎ 0120-402-253 | 受付 | 9:00~12:00 | 時間 | 13:00~17:00 |
○弊社お客様相談室におけるお客様の個人情報の取り扱いについては、スズキ株式会社ホームページにて掲載しておりますのでご覧ください。 <http://www.suzuki.co.jp>



#バイク月間